



# 新かがわ 多文化共生推進プラン

参考資料

# 県内在住外国人住民アンケート調査結果

- 調査目的 県内在住の外国人住民が抱えている問題や要望等を把握し、多文化共生に向けた基本的な考え方や具体的な施策に反映させる。
- 調査期間 令和元（2019）年7月下旬～8月上旬
- 対象 県内在住の外国人住民 3,043人
- 調査方法 技能実習生受入企業、大学・高等専門学校、専門学校、市町又は地域の日本語教室などを通して、対象者に配付。  
(日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、スペイン語)

## ○回収状況

	令和元(2019)年	平成27(2015)年	平成23(2011)年
配付数	3,043	2,491	1,565
回収数	1,624	1,402	918
回収率	53.4%	56.3%	58.7%

## ○回答者の属性

性別	男性：6割 女性：4割
年齢	19～22歳 24.1% 23～29歳 39.8% 30～39歳 24.3%
来日目的	仕事 72.9% 留学 16.6%
在留資格	技能実習 63.1% 留学 15.3%
在留年数	6か月未満 25.8% 6か月以上～1年未満 10.7% 1年以上～3年未満 46.2% 3年以上～5年未満 10.3%
国籍	中国 44.8% ベトナム 26.3% インドネシア 10.5%

# 1 国籍

## 平成18(2006)年

国名	人数	割合
中国	221	79.8%
アメリカ	12	4.3%
フィリピン	11	4.0%
韓国	6	2.2%
台湾	4	1.4%
オーストラリア	4	1.4%
ニュージーランド	3	1.1%
カナダ	2	0.7%
インドネシア	2	0.7%
イギリス	1	0.4%
パレスティナ	1	0.4%
エジプト	1	0.4%
マレーシア	1	0.4%
ブルネイ	1	0.4%
パキスタン	1	0.4%
バブアニューギニア	1	0.4%
フィンランド	1	0.4%
コスタリカ	1	0.4%
ベトナム	1	0.4%
バングラデシュ	1	0.4%
ギリシャ	1	0.4%
合 計	277	100.0%

## 平成23(2011)年

国名	人数	割合
中国	645	70.3%
フィリピン	64	7.0%
インドネシア	34	3.7%
韓国	34	3.7%
アメリカ	11	1.2%
タイ	11	1.2%
マレーシア	11	1.2%
ベトナム	10	1.1%
バングラデシュ	10	1.1%
ネパール	9	1.0%
スリランカ	7	0.8%
イギリス	7	0.8%
カナダ	4	0.4%
ラオス	4	0.4%
台湾	4	0.4%
パキスタン	3	0.3%
ペルー	3	0.3%
ミャンマー	3	0.3%
ロシア	3	0.3%
インド	2	0.2%
カンボジア	2	0.2%
バブアニューギニア	2	0.2%
ブラジル	2	0.2%
モンゴル	2	0.2%
アイルランド	1	0.1%
イタリア	1	0.1%
エチオピア	1	0.1%
オーストラリア	1	0.1%
オランダ	1	0.1%
ザンビア	1	0.1%
スペイン	1	0.1%
ソロモン諸島	1	0.1%
トンガ	1	0.1%
ニュージーランド	1	0.1%
フィジー	1	0.1%
フランス	1	0.1%
モルドバ	1	0.1%
未記入	18	2.0%
合 計	918	100.0%

## 平成27(2015)年

国名	人数	割合
中国	786	56.1%
ベトナム	184	13.1%
フィリピン	101	7.2%
インドネシア	96	6.8%
ネパール	62	4.4%
韓国	20	1.4%
アメリカ	17	1.2%
タイ	13	0.9%
バングラデシュ	12	0.9%
ミャンマー	10	0.7%
イギリス	6	0.4%
マレーシア	6	0.4%
ニュージーランド	4	0.3%
アイルランド	3	0.2%
日本	3	0.2%
ブラジル	3	0.2%
ブルネイ	3	0.2%
ペルー	3	0.2%
ラオス	3	0.2%
南アフリカ	3	0.2%
アルゼンチン	2	0.1%
エジプト	2	0.1%
カンボジア	2	0.1%
ジャマイカ	2	0.1%
台湾	2	0.1%
バブアニューギニア	2	0.1%
インド	1	0.1%
ウガンダ	1	0.1%
カナダ	1	0.1%
ギリシャ	1	0.1%
ケニア	1	0.1%
スーダン	1	0.1%
スペイン	1	0.1%
ドイツ	1	0.1%
トルコ	1	0.1%
ハンガリー	1	0.1%
パキスタン	1	0.1%
モンゴル	1	0.1%
ラオス	1	0.1%
未記入	39	2.8%
合 計	1,402	100.0%

## 令和元(2019)年

国名	人数	割合
中国	727	44.8%
ベトナム	427	26.3%
インドネシア	171	10.5%
ミャンマー	66	4.1%
フィリピン	65	4.0%
アメリカ	19	1.2%
タイ	16	1.0%
マレーシア	16	1.0%
カンボジア	12	0.7%
韓国	9	0.6%
インド	8	0.5%
バングラデシュ	8	0.5%
モンゴル	8	0.5%
台湾	8	0.5%
ブラジル	6	0.4%
イギリス	4	0.2%
ペルー	4	0.2%
日本	4	0.2%
カナダ	3	0.2%
ドイツ	4	0.2%
フランス	3	0.2%
メキシコ	3	0.2%
オーストラリア	2	0.1%
トルコ	2	0.1%
ネパール	2	0.1%
アイルランド	1	0.1%
アルゼンチン	1	0.1%
オランダ	1	0.1%
キルギス	1	0.1%
ジャマイカ	1	0.1%
スウェーデン	1	0.1%
スリランカ	1	0.1%
セネガル	1	0.1%
ニュージーランド	1	0.1%
バブアニューギニア	1	0.1%
マダガスカル	1	0.1%
マラウイ	1	0.1%
モザンビーク	1	0.1%
香港	1	0.1%
未記入	13	0.8%
総 計	1,624	100.0%

## 2 性別

### 平成18(2006)年

国名	男性	女性	無回答
中国	74	146	1
アメリカ	5	7	0
フィリピン	8	3	0
韓国	4	2	0
台湾	2	2	0
オーストラリア	3	1	0
ニュージーランド	2	1	0
カナダ	1	1	0
インドネシア	1	1	0
イギリス	1	0	0
パレスティナ	1	0	0
エジプト	1	0	0
マレーシア	1	0	0
ブルネイ	1	0	0
パキスタン	1	0	0
バブアニューギニア	1	0	0
フィンランド	1	0	0
コスタリカ	1	0	0
ベトナム	0	1	0
バングラデシュ	1	0	0
ギリシャ	0	1	0
合計	110	166	1
	39.7%	59.9%	0.4%

### 平成23(2011)年

国名	男性	女性	無回答
中国	187	453	0
フィリピン	40	24	2
インドネシア	31	2	1
韓国	20	14	0
アメリカ	8	3	0
タイ	2	9	0
マレーシア	9	2	0
ベトナム	5	5	0
ネパール	8	1	0
バングラデシュ	8	1	0
スリランカ	6	1	0
イギリス	6	0	0
カナダ	4	0	0
ラオス	3	1	0
台湾	0	3	0
パキスタン	1	2	0
ブラジル	2	1	0
ペルー	1	2	0
ミャンマー	1	2	0
ロシア	1	2	0
カンボジア	0	2	0
バブアニューギニア	1	1	0
フランス	2	0	0
モンゴル	1	1	0
インド	1	1	0
イタリア	1	0	0
エチオピア	0	1	0
オーストラリア	0	1	0
モルドバ	0	1	0
ザンビア	0	1	0
ソロモン諸島	0	1	0
トンガ	0	1	0
ニュージーランド	1	0	0
フィジー	1	0	0
オランダ	1	0	0
スペイン	1	0	0
未記入	0	0	23
合計	353	539	26
	38.5%	58.7%	2.8%

### 平成27(2015)年

国名	男性	女性	無回答
中国	450	333	3
ベトナム	25	154	5
フィリピン	52	48	1
インドネシア	46	49	1
ネパール	45	17	0
韓国	10	10	0
アメリカ	12	5	0
タイ	3	10	0
バングラデシュ	8	4	0
ミャンマー	8	2	0
イギリス	4	2	0
マレーシア	3	3	0
ニュージーランド	4	0	0
アイルランド	3	0	0
日本	1	2	0
ブラジル	1	2	0
ブルネイ	1	2	0
ペルー	3	0	0
ラオス	0	3	0
南アフリカ	2	1	0
アルゼンチン	1	1	0
エジプト	2	0	0
カンボジア	1	1	0
ジャマイカ	1	1	0
台湾	0	1	1
バブアニューギニア	1	1	0
インド	0	1	0
ウガンダ	0	1	0
カナダ	0	1	0
ギリシャ	0	1	0
ケニア	1	0	0
スーダン	0	1	0
スペイン	1	0	0
ドイツ	1	0	0
トルコ	1	0	0
ハンガリー	1	0	0
パキスタン	1	0	0
モンゴル	1	0	0
ラオス	1	0	0
未記入	13	7	19
合計	708	664	30
	50.5%	47.4%	2.1%

### 令和元(2019)年

国名	男性	女性	無回答
中国	526	193	8
ベトナム	178	241	8
インドネシア	105	64	2
ミャンマー	21	45	0
フィリピン	29	34	2
アメリカ	10	9	0
タイ	5	11	0
マレーシア	6	10	0
カンボジア	8	3	1
韓国	5	4	0
インド	2	6	0
バングラデシュ	5	3	0
モンゴル	5	3	0
台湾	3	5	0
ブラジル	2	4	0
イギリス	4	0	0
ペルー	3	1	0
日本	2	2	0
カナダ	2	1	0
ドイツ	4	0	0
フランス	2	1	0
メキシコ	1	2	0
オーストラリア	2	0	0
トルコ	0	2	0
ネパール	2	0	0
アイルランド	1	0	0
アルゼンチン	1	0	0
オランダ	1	0	0
キルギス	1	0	0
ジャマイカ	1	0	0
スウェーデン	1	0	0
スリランカ	1	0	0
セネガル	1	0	0
ニュージーランド	1	0	0
バブアニューギニア	1	0	0
マダガスカル	0	1	0
マラウイ	1	0	0
モザンビーク	1	0	0
香港	0	1	0
未記入	5	2	6
総計	949	648	27
	58.4%	39.9%	1.7%

### 3 年齢

#### 平成18(2006)年

年齢	男性	男比	女性	女比	不明	不比	合計	合比
～15才	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～18才	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
19～22才	14	13.0%	46	28.6%	0	0.0%	60	21.7%
23～29才	44	40.7%	83	51.6%	0	0.0%	127	45.8%
30～39才	45	41.7%	29	18.0%	0	0.0%	74	26.7%
40～49才	5	4.6%	1	0.6%	0	0.0%	6	2.2%
50～59才	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
60～69才	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70～79才	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	8	100.0%	8	2.9%
合計	108	100.0%	161	100.0%	8	100.0%	277	100.0%

#### 平成23(2011)年

年齢	男性	男比	女性	女比	不明	不比	合計	合比
～15才	1	0.3%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.2%
16～18才	2	0.6%	4	0.7%	0	0.0%	6	0.7%
19～22才	86	24.4%	254	47.0%	1	4.0%	341	37.1%
23～29才	179	50.9%	189	34.9%	0	0.0%	368	40.1%
30～39才	63	17.9%	67	12.4%	0	0.0%	130	14.2%
40～49才	13	3.7%	19	3.5%	0	0.0%	32	3.5%
50～59才	6	1.7%	2	0.4%	0	0.0%	8	0.9%
60～69才	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70～79才	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	2	0.6%	5	0.9%	24	96.0%	31	3.4%
合計	352	100.0%	541	100.0%	25	100.0%	918	100.0%

#### 平成27(2015)年

年齢	男性	男比	女性	女比	不明	不比	合計	合比
～15才	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
16～18才	4	0.6%	10	1.5%	0	0.0%	14	1.0%
19～22才	80	11.3%	172	25.9%	2	5.9%	254	18.1%
23～29才	390	55.3%	289	43.6%	7	20.6%	686	48.9%
30～39才	181	25.7%	145	21.9%	3	8.8%	329	23.5%
40～49才	27	3.8%	24	3.6%	0	0.0%	51	3.6%
50～59才	11	1.6%	15	2.3%	0	0.0%	26	1.9%
60～69才	7	1.0%	3	0.5%	0	0.0%	10	0.7%
70～79才	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
不明	4	0.6%	4	0.6%	22	64.7%	30	2.1%
合計	705	100.0%	663	100.0%	34	100.0%	1,402	100.0%

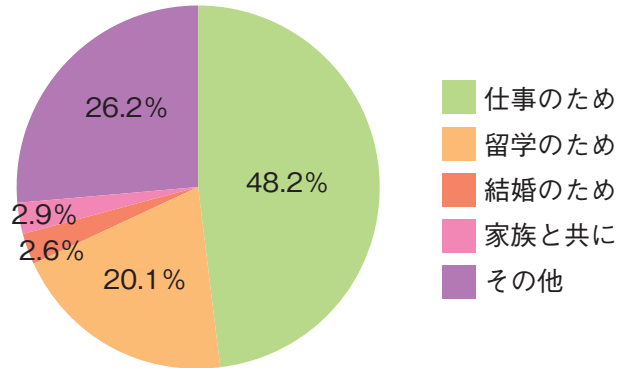
#### 令和元(2019)年

年齢	男性	男比	女性	女比	不明	不比	合計	合比
～15才	5	0.5%	0	0.0%	2	7.4%	7	0.4%
16～18才	6	0.6%	8	1.2%	0	0.0%	14	0.9%
19～22才	203	21.4%	188	29.0%	1	3.7%	392	24.1%
23～29才	397	41.8%	248	38.3%	2	7.4%	647	39.8%
30～39才	232	24.4%	163	25.2%	0	0.0%	395	24.3%
40～49才	93	9.8%	32	4.9%	0	0.0%	125	7.7%
50～59才	6	0.6%	5	0.8%	0	0.0%	11	0.7%
60～69才	3	0.3%	1	0.2%	0	0.0%	4	0.2%
70～79才	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.1%
不明	3	0.3%	2	0.3%	22	81.5%	27	1.7%
合計	949	100.0%	648	100.0%	27	100.0%	1,624	100.0%

## 4 来日の目的

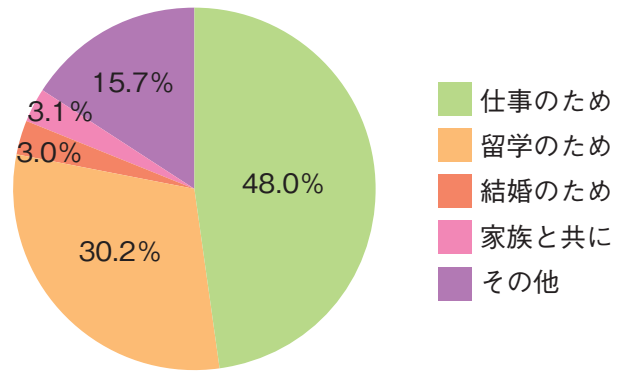
### 平成18(2006)年

来日の目的	割合
仕事のため	48.2%
留学のため	20.1%
結婚のため	2.6%
家族と共に	2.9%
その他	26.2%
	0.0%
合計	100.0%



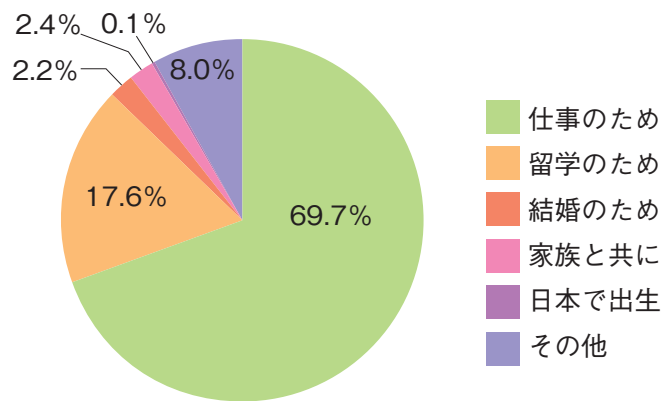
### 平成23(2011)年

来日の目的	割合
仕事のため	48.0%
留学のため	30.2%
結婚のため	3.0%
家族と共に	3.1%
その他	15.7%
	0.0%
合計	100.0%



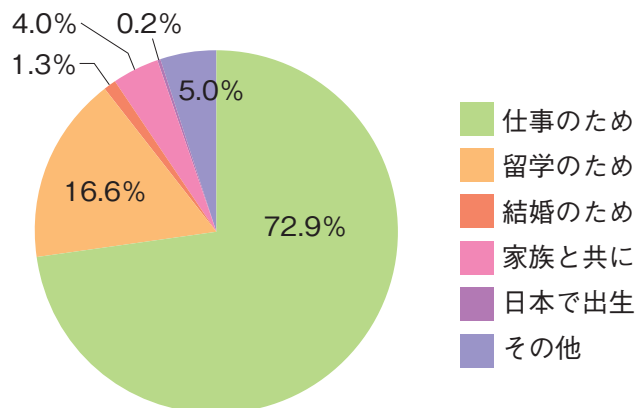
### 平成27(2015)年

来日の目的	割合
仕事のため	69.7%
留学のため	17.6%
結婚のため	2.2%
家族と共に	2.4%
日本で出生	0.1%
その他	8.0%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

来日の目的	人数	割合
仕事のため	1187	72.9%
留学のため	270	16.6%
結婚のため	21	1.3%
家族と共に	65	4.0%
日本で出生	4	0.2%
その他	81	5.0%
合計	1,628	100.0%



## 5 在留資格

### 平成18(2006)年

在留資格	人数	割合
教授	13	4.7%
芸術	0	0.0%
宗教	2	0.7%
報道	0	0.0%
投資・経営	0	0.0%
法律・会計	0	0.0%
医療	2	0.7%
研究	0	0.0%
教育	4	1.4%
技術	1	0.4%
人文知識・国際	9	3.2%
企業内転勤	0	0.0%
興行	0	0.0%
技能	4	1.4%
文化活動	0	0.0%
短期滞在	4	1.4%
留学	50	18.1%
就学	0	0.0%
研修	115	41.5%
家族滞在	0	0.0%
特定活動	55	19.9%
永住者	5	1.8%
日本人配偶者	9	3.2%
永住配偶者	1	0.4%
定住者	1	0.4%
未記入	2	0.7%
合計	277	100.0%

### 平成23(2011)年

在留資格	人数	割合
教授	7	0.8%
芸術	1	0.1%
宗教	0	0.0%
報道	0	0.0%
投資・経営	0	0.0%
法律・会計	0	0.0%
医療	2	0.2%
研究	4	0.4%
教育	17	1.9%
技術	3	0.3%
人文知識・国際	8	0.9%
企業内転勤	0	0.0%
興行	0	0.0%
技能	132	14.4%
文化活動	1	0.1%
短期滞在	5	0.5%
留学	236	25.7%
就学	11	1.2%
研修	210	22.9%
家族滞在	8	0.9%
特定活動	199	21.7%
永住者	14	1.5%
日本人配偶者	26	2.8%
永住配偶者	8	0.9%
定住者	14	1.5%
未記入	12	1.3%
合計	918	100.0%

### 平成27(2015)年

在留資格	人数	割合
教授	11	0.8%
芸術	1	0.1%
宗教	3	0.2%
報道	1	0.1%
投資・経営	1	0.1%
法律・会計	0	0.0%
医療	0	0.0%
研究	17	1.2%
教育	21	1.5%
技術	24	1.7%
人文知識・国際	11	0.8%
企業内転勤	10	0.7%
興行	0	0.0%
技能	565	40.3%
文化活動	4	0.3%
短期滞在	4	0.3%
留学	219	15.6%
就学	7	0.5%
研修	303	21.6%
家族滞在	5	0.4%
特定活動	64	4.6%
永住者	41	2.9%
日本人配偶者	20	1.4%
永住配偶者	6	0.4%
定住者	20	1.4%
特別永住者	1	0.1%
未記入	43	3.1%
合計	1,402	100.0%

### 令和元(2019)年

在留資格	人数	割合
教授	16	1.0%
芸術	1	0.1%
宗教	2	0.1%
報道	2	0.1%
高度専門職	2	0.1%
経営・管理	2	0.1%
法律・会計業務	1	0.1%
医療	7	0.4%
研究	0	0.0%
教育	29	1.8%
技術・人文知識・国際業務	30	1.8%
企業内転勤	4	0.2%
介護	12	0.7%
興行	1	0.1%
技能	45	2.8%
技能実習	1,025	63.1%
文化活動	0	0.0%
短期滞在	7	0.4%
留学	249	15.3%
研修	21	1.3%
家族滞在	9	0.6%
特定活動	56	3.4%
永住者	24	1.5%
日本人の配偶者等	14	0.9%
永住者の配偶者等	7	0.4%
定住者	13	0.8%
特定技能	13	0.8%
特別永住者	3	0.2%
未記入	29	1.8%
合計	1,624	100.0%

## 6 母国語について

### ①母国語はなんですか。

#### 平成18(2006)年

母国語	人数	割合
中国語	220	79.4%
英語	22	7.9%
タガログ語	10	3.6%
韓国語	6	2.2%
台湾語	4	1.4%
アラビア語	2	0.7%
インドネシア語	2	0.7%
ギリシャ語	1	0.4%
マレー語	1	0.4%
ウルドゥ語	1	0.4%
イロカノ語	1	0.4%
ビジン語	1	0.4%
ベンガル語	1	0.4%
ベトナム語	1	0.4%
フィンランド語	1	0.4%
スペイン語	1	0.4%
未記入	2	0.7%
合計	277	100.0%

#### 平成23(2011)年

母国語	人数	割合
中国語	688	70.0%
タガログ語	50	5.1%
英語	43	4.4%
韓国語	34	3.5%
インドネシア語	28	2.8%
ビサヤ語	21	2.1%
タイ語	11	1.1%
ベトナム語	10	1.0%
マレーシア語	9	0.9%
ネパール語	8	0.8%
ベンガル語	8	0.8%
ジャワ語	7	0.7%
シンハラ語	6	0.6%
セブアノ語	6	0.6%
スペイン語	5	0.5%
モンゴル語	5	0.5%
バハサ語	4	0.4%
フィリピン語	4	0.4%
ラオス語	4	0.4%
ウルドゥ語	3	0.3%
ミャンマー語	3	0.3%
ロシア語	3	0.3%
トンガ語	2	0.2%
バングラデシュ語	2	0.2%
ポルトガル語	2	0.2%
その他	16	1.6%
不明	1	0.1%
合計	983	100.0%

#### 平成27(2015)年

母国語	人数	割合
中国語	785	54.6%
ベトナム語	172	12.0%
インドネシア語	95	6.6%
ネパール語	60	4.2%
タガログ語	58	4.0%
英語	49	3.4%
ビサヤ語	41	2.8%
フィリピン語	29	2.0%
韓国語	20	1.4%
タイ語	13	0.9%
ベンガル語	10	0.7%
ミャンマー語	10	0.7%
スペイン語	7	0.5%
マレー語	5	0.3%
アラビア語	4	0.3%
マレーシア語	4	0.3%
セブアノ語	3	0.2%
日本語	3	0.2%
バングラデシュ語	3	0.2%
ポルトガル語	3	0.2%
ラオス語	3	0.2%
クメール語	2	0.1%
ビシン語	2	0.1%
アムハラ語	1	0.1%
イバソ語	1	0.1%
ウルドゥ語	1	0.1%
キクユ語	1	0.1%
ギリシャ語	1	0.1%
スワヒリ語	1	0.1%
ドイツ語	1	0.1%
トルコ語	1	0.1%
ハンガリー語	1	0.1%
ヒンドゥ語	1	0.1%
マイティリー語	1	0.1%
モンゴル語	1	0.1%
ラオス語	1	0.1%
未記入	45	3.1%
合計	1,439	100.0%

#### 令和元(2019)年

母国語	人数	割合
中国語	738	45.4%
ベトナム語	426	26.2%
インドネシア語	157	9.7%
ミャンマー語	65	4.0%
タガログ語	36	2.2%
英語	31	1.9%
タイ語	17	1.0%
ビサヤ語	16	1.0%
マレー語	14	0.9%
ジャワ語	12	0.7%
フィリピン語	12	0.7%
クメール語	11	0.7%
スペイン語	9	0.6%
韓国語	9	0.6%
モンゴル語	8	0.5%
ポルトガル語	7	0.4%
ベンガル語	6	0.4%
ヒンディー語	5	0.3%
フランス語	4	0.2%
ドイツ語	4	0.2%
セブアノ語	2	0.1%
トルコ語	2	0.1%
ネパール語	2	0.1%
バングラデシュ語	2	0.1%
ウイグル語	1	0.1%
ウオロフ語	1	0.1%
オランダ語	1	0.1%
カンボジア語	1	0.1%
キルギス語	1	0.1%
シンハラ語	1	0.1%
スウェーデン語	1	0.1%
スダ語	1	0.1%
タワラ語	1	0.1%
チェワ語	1	0.1%
ビルマ語	1	0.1%
マダガスカル語	1	0.1%
マラーティー語	1	0.1%
マレーシア語	1	0.1%
モン語	1	0.1%
台湾語	1	0.1%
未記入	13	0.8%
合計	1,624	100.0%

#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・引き続き中国語が最も多いが、割合としては減少傾向。初めて割合として半数を下回った。
- ・技能実習生の影響か、ベトナム語等の東南アジア諸国の言語が増加。



②母国語以外に話せる言葉はありますか。

平成18(2006)年

話せる言語	人数	割合
日本語	214	84.9%
英語	31	12.3%
韓国語	1	0.4%
バンジャール語	1	0.4%
スペイン語	1	0.4%
中国語	2	0.8%
スウェーデン語	1	0.4%
イタリア語	1	0.4%
合計	252	100.0%

平成23(2011)年

話せる言語	人数	割合
日本語	722	66.7%
英語	283	26.1%
タガログ語	12	1.1%
韓国語	10	0.9%
ヒンドゥー語	7	0.6%
中国語	5	0.5%
フランス語	5	0.5%
スペイン語	4	0.4%
ドイツ語	4	0.4%
ロシア語	4	0.4%
ジャワ語	3	0.3%
タイ語	3	0.3%
アラビア語	2	0.2%
イタリア語	2	0.2%
インドネシア語	2	0.2%
ビサヤ語	2	0.2%
その他	13	1.2%
合計	1,083	100.0%

平成27(2015)年

話せる言語	人数	割合
日本語	909	66.1%
英語	336	24.4%
ヒンドゥー語	39	2.8%
タガログ語	16	1.2%
スペイン語	12	0.9%
フランス語	7	0.5%
タイ語	6	0.4%
韓国語	5	0.4%
中国語	6	0.4%
ドイツ語	4	0.3%
イタリア語	3	0.2%
ビサヤ語	3	0.2%
ミャンマー語	3	0.2%
アラビア語	2	0.1%
BAGOBO語	1	0.1%
インドネシア語	1	0.1%
台湾語	1	0.1%
アイルランド語	1	0.1%
アフリカーンス語	1	0.1%
オランダ語	1	0.1%
オロモ語	1	0.1%
ジャワ語	1	0.1%
バンジャール語	1	0.1%
フィリピン語	1	0.1%
ベンガル語	1	0.1%
マレーシア語	1	0.1%
モンゴル語	1	0.1%
色々	1	0.1%
その他	10	0.7%
合計	1,375	100.0%

令和元(2019)年

話せる言語	人数	割合
日本語	997	73.6%
英語	279	20.6%
タガログ語	12	0.9%
ジャワ語	8	0.6%
スペイン語	7	0.5%
ビサヤ語	7	0.5%
韓国語	7	0.5%
中国語	7	0.5%
インドネシア語	5	0.4%
ドイツ語	4	0.3%
アラビア語	3	0.2%
フランス語	3	0.2%
マレー語	3	0.2%
セブアノ語	2	0.1%
ヒンディー語	2	0.1%
イタリア語	1	0.1%
ジャマイカ語	1	0.1%
スウェーデン語	1	0.1%
スンダ語	1	0.1%
タイ語	1	0.1%
フィリピン語	1	0.1%
ベトナム語	1	0.1%
ポルトガル語	1	0.1%
マレーシア語	1	0.1%
合計	1,355	100.0%

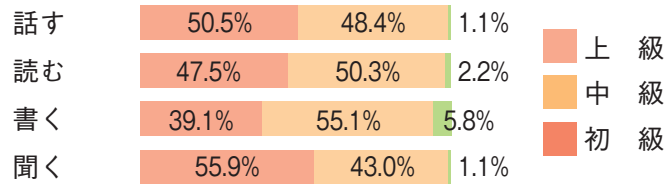
【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・技能実習前の教育のせい、減少していた日本語話者の割合が増加。

## 7 日本語はどのくらいできますか。

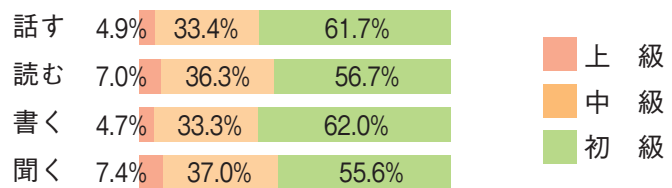
### 平成18(2006)年

	話す	読む	書く	聞く
上級	50.5%	47.5%	39.1%	55.9%
中級	48.4%	50.3%	55.1%	43.0%
初級	1.1%	2.2%	5.8%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



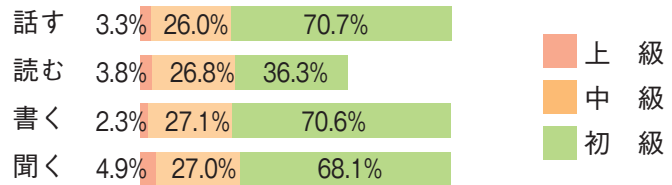
### 平成23(2011)年

	話す	読む	書く	聞く
上級	4.9%	7.0%	4.7%	7.4%
中級	33.4%	36.3%	33.3%	37.0%
初級	61.7%	56.7%	62.0%	55.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



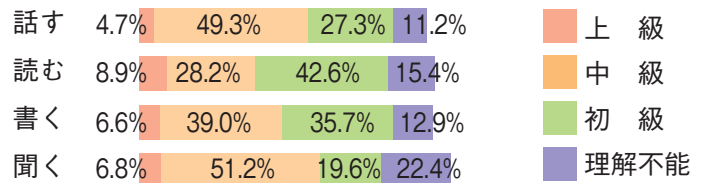
### 平成27(2015)年

	話す	読む	書く	聞く
上級	3.3%	3.8%	2.3%	4.9%
中級	26.0%	26.8%	27.1%	27.0%
初級	70.7%	36.3%	70.6%	68.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



### 令和元(2019)年

	話す	読む	書く	聞く
上級	4.7%	8.9%	6.6%	6.8%
中級	49.3%	28.2%	39.0%	51.2%
初級	27.3%	42.6%	35.7%	19.6%
理解不能	11.2%	15.4%	12.9%	22.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



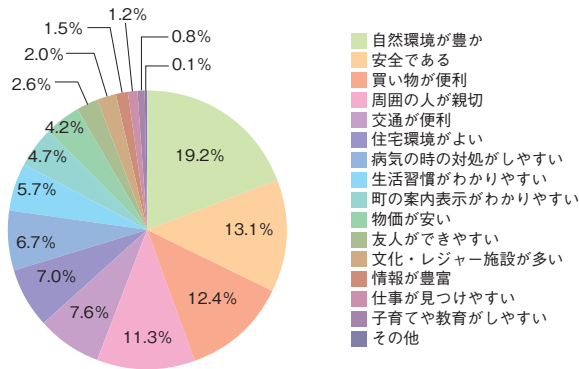
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・日本語をある程度学んでから来日していることが伺えるが、初級者の割合は多く、日本語をほとんど理解できない外国人も一定数存在する。

## 8 香川県に住んでよいと思うところは何か。(すべて選んでください)

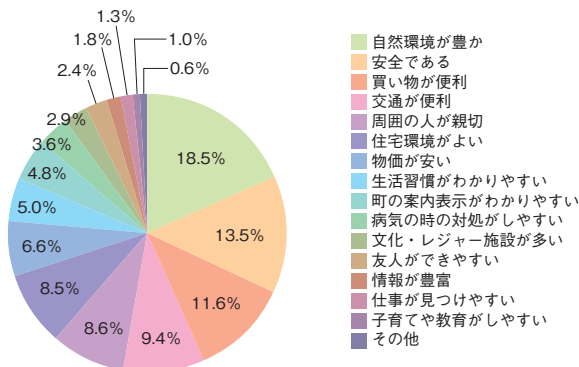
### 平成18(2006)年

ランク	内容	人数	割合
1	自然環境が豊か	200	19.2%
2	安全である	137	13.1%
3	買い物が便利	129	12.4%
4	周囲の人が親切	118	11.3%
5	交通が便利	79	7.6%
6	住宅環境がよい	73	7.0%
7	病気の時の対処がしやすい	70	6.7%
8	生活習慣がわかりやすい	59	5.7%
9	町の案内表示がわかりやすい	49	4.7%
10	物価が安い	44	4.2%
11	友人がしやすい	27	2.6%
12	文化・レジャー施設が多い	21	2.0%
13	情報が豊富	16	1.5%
14	仕事を見つけやすい	13	1.2%
15	子育てや教育がしやすい	8	0.8%
16	その他	1	0.1%
		1,044	100.0%



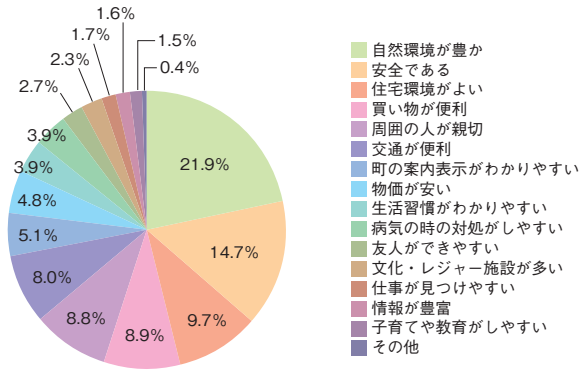
### 平成23(2011)年

ランク	内容	人数	割合
1	自然環境が豊か	616	18.5%
2	安全である	449	13.5%
3	買い物が便利	385	11.6%
4	交通が便利	314	9.4%
5	周囲の人が親切	286	8.6%
6	住宅環境がよい	281	8.5%
7	物価が安い	218	6.6%
8	生活習慣がわかりやすい	167	5.0%
9	町の案内表示がわかりやすい	158	4.8%
10	病気の時の対処がしやすい	120	3.6%
11	文化・レジャー施設が多い	97	2.9%
12	友人がしやすい	79	2.4%
13	情報が豊富	59	1.8%
14	仕事を見つけやすい	42	1.3%
15	子育てや教育がしやすい	33	1.0%
16	その他	21	0.6%
		3,325	100.0%



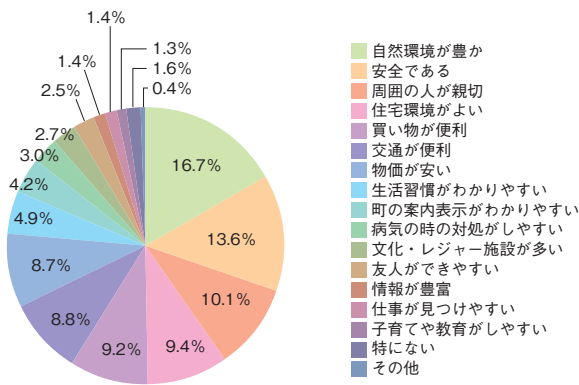
### 平成27(2015)年

ランク	内容	人数	割合
1	自然環境が豊か	1,010	21.9%
2	安全である	679	14.7%
3	住宅環境がよい	447	9.7%
4	買い物が便利	409	8.9%
5	周囲の人が親切	408	8.8%
6	交通が便利	371	8.0%
7	町の案内表示がわかりやすい	237	5.1%
8	物価が安い	223	4.8%
9	生活習慣がわかりやすい	182	3.9%
10	病気の時の対処がしやすい	182	3.9%
11	友人がしやすい	123	2.7%
12	文化・レジャー施設が多い	107	2.3%
13	仕事を見つけやすい	78	1.7%
14	情報が豊富	73	1.6%
15	子育てや教育がしやすい	71	1.5%
16	その他	20	0.4%
		4,620	100.0%



### 令和元(2019)年

ランク	内容	人数	割合
1	自然環境が豊か	923	16.7%
2	安全である	756	13.6%
3	周囲の人が親切	561	10.1%
4	住宅環境がよい	520	9.4%
5	買い物が便利	511	9.2%
6	交通が便利	490	8.8%
7	物価が安い	483	8.7%
8	生活習慣がわかりやすい	274	4.9%
9	町の案内表示がわかりやすい	234	4.2%
10	病気の時の対処がしやすい	165	3.0%
11	文化・レジャー施設が多い	148	2.7%
12	友人がしやすい	138	2.5%
13	情報が豊富	80	1.4%
14	仕事を見つけやすい	79	1.4%
15	子育てや教育がしやすい	70	1.3%
16	特にな	88	1.6%
17	その他	21	0.4%
		5,541	100.0%



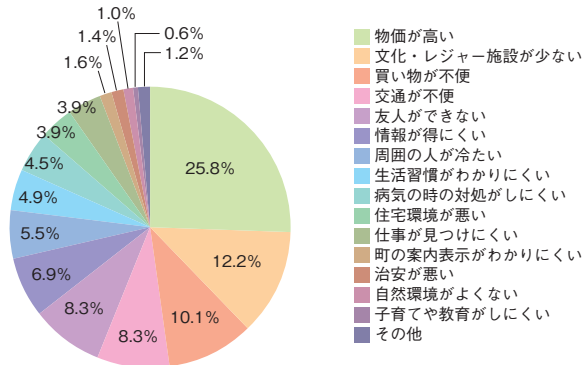
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・自然環境など、地方特有の傾向は変わっていない。
- ・円安の影響か、国際競争力の悪化か、「物価が安い」の割合が微増している。

## 9 香川県に住んで困ることやいやなことは何ですか。(すべて選んでください)

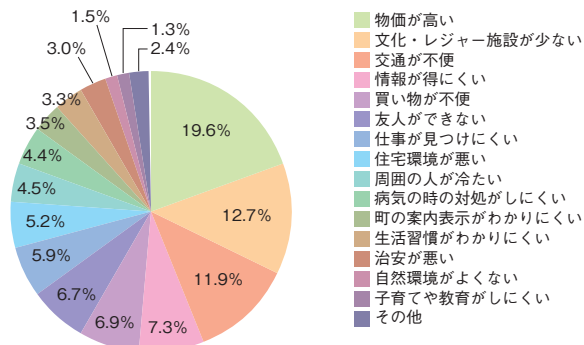
### 平成18(2006)年

ランク	内容	人数	割合
1	物価が高い	127	25.8%
2	文化・レジャー施設が少ない	60	12.2%
3	買い物が不便	50	10.1%
4	交通が不便	41	8.3%
5	友人ができない	41	8.3%
6	情報が得にくい	34	6.9%
7	周囲の人が冷たい	27	5.5%
8	生活習慣がわかりにくい	24	4.9%
9	病気の時の対処がしにくい	22	4.5%
10	住宅環境が悪い	19	3.9%
11	仕事が見つけにくい	19	3.9%
12	町の案内表示がわかりにくい	8	1.6%
13	治安が悪い	7	1.4%
14	自然環境がよくない	5	1.0%
15	子育てや教育がしにくい	3	0.6%
16	その他	6	1.2%
		493	100.0%



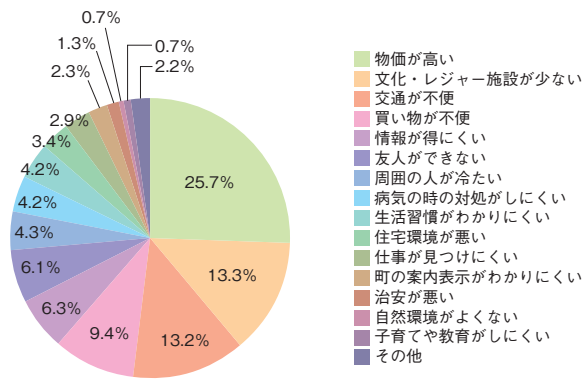
### 平成23(2011)年

ランク	内容	人数	割合
1	物価が高い	322	19.6%
2	文化・レジャー施設が少ない	208	12.7%
3	交通が不便	195	11.9%
4	情報が得にくい	119	7.3%
5	買い物が不便	113	6.9%
6	友人ができない	110	6.7%
7	仕事が見つけにくい	97	5.9%
8	住宅環境が悪い	86	5.2%
9	周囲の人が冷たい	74	4.5%
10	病気の時の対処がしにくい	72	4.4%
11	町の案内表示がわかりにくい	57	3.5%
12	生活習慣がわかりにくい	54	3.3%
13	治安が悪い	49	3.0%
14	自然環境がよくない	24	1.5%
15	子育てや教育がしにくい	21	1.3%
16	その他	40	2.4%
		1,641	100.0%



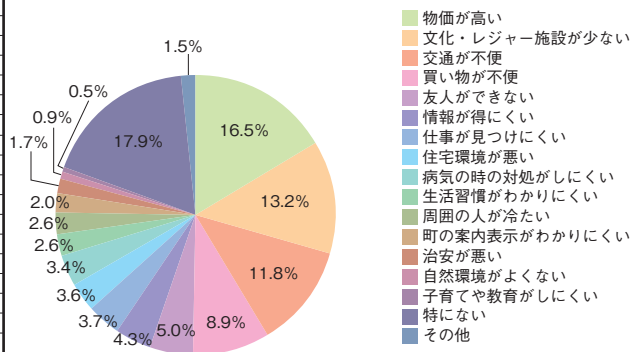
### 平成27(2015)年

ランク	内容	人数	割合
1	物価が高い	612	25.7%
2	文化・レジャー施設が少ない	316	13.3%
3	交通が不便	315	13.2%
4	買い物が不便	223	9.4%
5	情報が得にくい	149	6.3%
6	友人ができない	146	6.1%
7	周囲の人が冷たい	102	4.3%
8	病気の時の対処がしにくい	101	4.2%
9	生活習慣がわかりにくい	100	4.2%
10	住宅環境が悪い	80	3.4%
11	仕事が見つけにくい	68	2.9%
12	町の案内表示がわかりにくい	54	2.3%
13	治安が悪い	31	1.3%
14	自然環境がよくない	16	0.7%
15	子育てや教育がしにくい	16	0.7%
16	その他	53	2.2%
		2,382	100.0%



### 令和元(2019)年

ランク	内容	人数	割合
1	物価が高い	405	16.5%
2	文化・レジャー施設が少ない	325	13.2%
3	交通が不便	291	11.8%
4	買い物が不便	219	8.9%
5	友人ができない	122	5.0%
6	情報が得にくい	105	4.3%
7	仕事が見つけにくい	91	3.7%
8	住宅環境が悪い	89	3.6%
9	病気の時の対処がしにくい	83	3.4%
10	生活習慣がわかりにくい	65	2.6%
11	周囲の人が冷たい	63	2.6%
12	町の案内表示がわかりにくい	49	2.0%
13	治安が悪い	42	1.7%
14	自然環境がよくない	22	0.9%
15	子育てや教育がしにくい	13	0.5%
16	特になし	440	17.9%
17	その他	37	1.5%
		2,461	100.0%



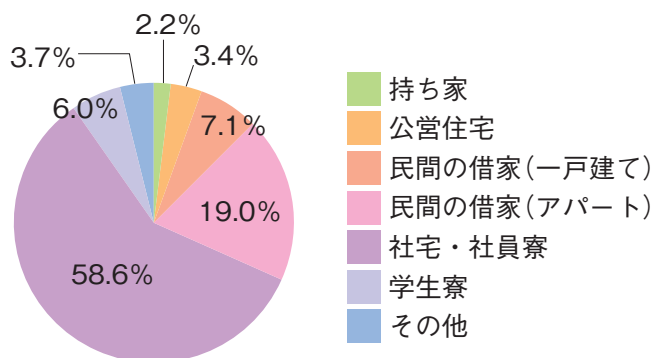
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・レジャー施設や交通の便など、地方特有の傾向は変わっていない。
- ・円安の影響か、国際競争力の悪化か、「物価が高い」の割合が減少傾向。

## 10 住宅の種類は何ですか

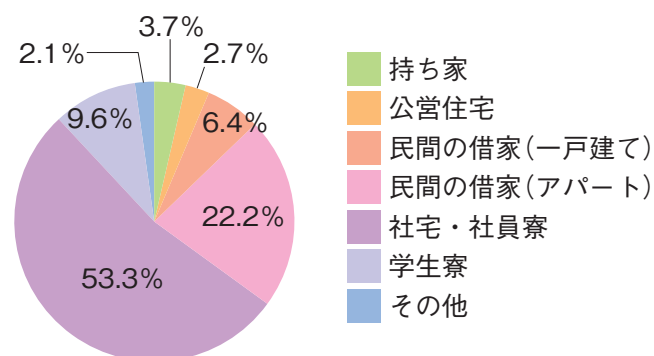
平成18(2006)年

住居の種類	割合
持ち家	2.2%
公営住宅	3.4%
民間の借家(一戸建て)	7.1%
民間の借家(アパート)	19.0%
社宅・社員寮	58.6%
学生寮	6.0%
その他	3.7%
合計	100.0%



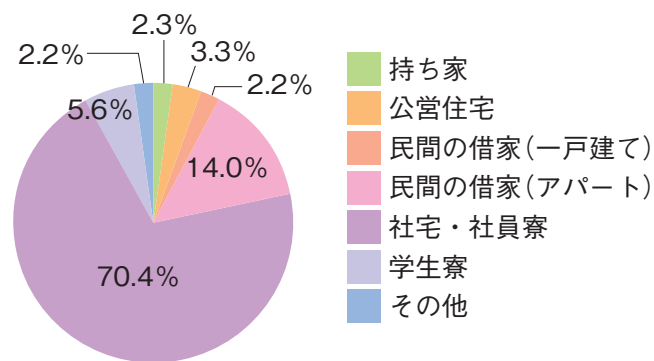
平成23(2011)年

住居の種類	割合
持ち家	3.7%
公営住宅	2.7%
民間の借家(一戸建て)	6.4%
民間の借家(アパート)	22.2%
社宅・社員寮	53.3%
学生寮	9.6%
その他	2.1%
合計	100.0%



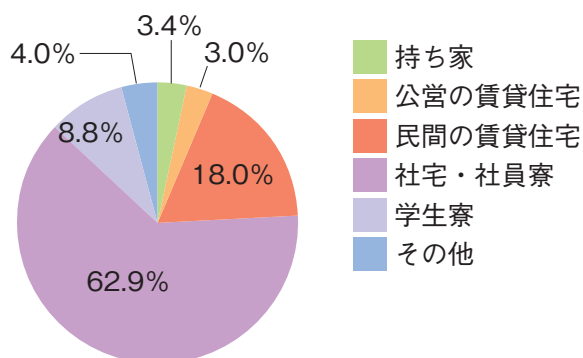
平成27(2015)年

住居の種類	割合
持ち家	2.3%
公営住宅	3.3%
民間の借家(一戸建て)	2.2%
民間の借家(アパート)	14.0%
社宅・社員寮	70.4%
学生寮	5.6%
その他	2.2%
合計	100.0%



令和元(2019)年

住居の種類	人数	割合
持ち家	55	3.4%
公営の賃貸住宅	48	3.0%
民間の賃貸住宅	292	18.0%
社宅・社員寮	1021	62.9%
学生寮	143	8.8%
その他	34	4.0%
合計	1,593	100.0%



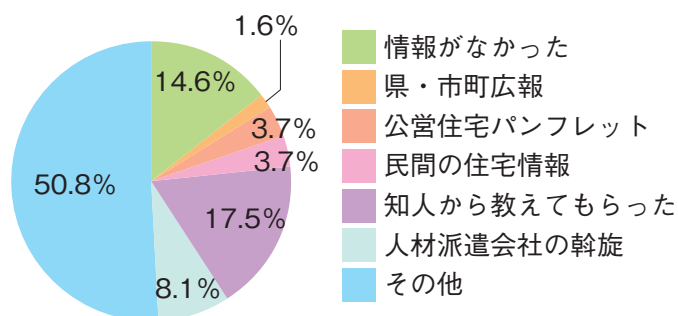
【平成18年からの過去3回との経年比較】

・変わらず社宅・社員寮の比率が多く6割以上を占める。

## 11 住宅情報の入手先はどこですか

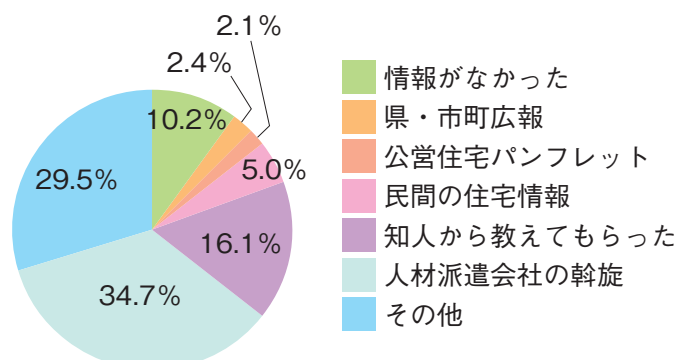
平成18(2006)年

住宅情報の入手先	割合
情報がなかった	14.6%
県・市町広報	1.6%
公営住宅パンフレット	3.7%
民間の住宅情報	3.7%
知人から教えてもらった	17.5%
人材派遣会社の斡旋	8.1%
その他	50.8%
合 計	100.0%



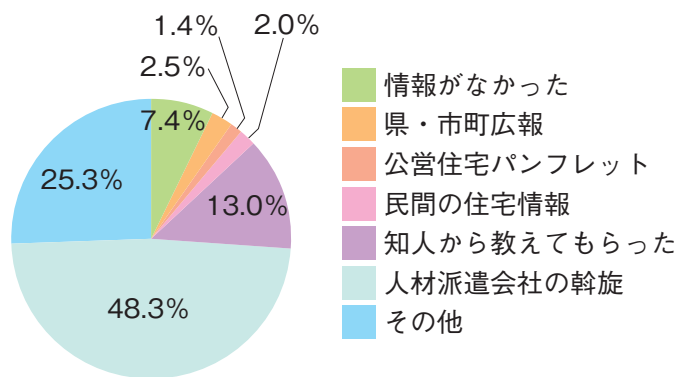
平成23(2011)年

住宅情報の入手先	割合
情報がなかった	10.2%
県・市町広報	2.4%
公営住宅パンフレット	2.1%
民間の住宅情報	5.0%
知人から教えてもらった	16.1%
人材派遣会社の斡旋	34.7%
その他	29.5%
合 計	100.0%



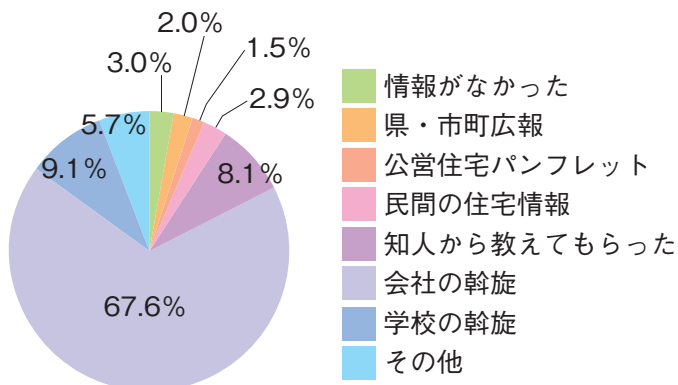
平成27(2015)年

住宅情報の入手先	割合
情報がなかった	7.4%
県・市町広報	2.5%
公営住宅パンフレット	1.4%
民間の住宅情報	2.0%
知人から教えてもらった	13.0%
人材派遣会社の斡旋	48.3%
その他	25.3%
合 計	99.9%



令和元(2019)年

住宅情報の入手先	人数	割合
情報がなかった	49	3.0%
県・市町広報	32	2.0%
公営住宅パンフレット	25	1.5%
民間の住宅情報	47	2.9%
知人から教えてもらった	132	8.1%
会社の斡旋	1098	67.6%
学校の斡旋	148	9.1%
その他	61	5.7%
合 計		100.0%



【平成18年からの過去3回との経年比較】

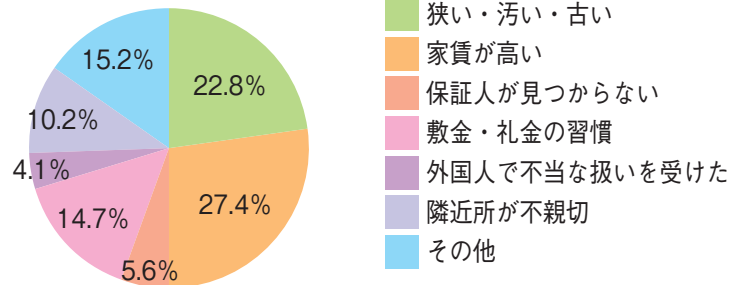
・技能実習生増加からか、会社からの斡旋が圧倒的に多く6割以上。



## 12 住居に対する不満は何ですか。(すべて選んでください)

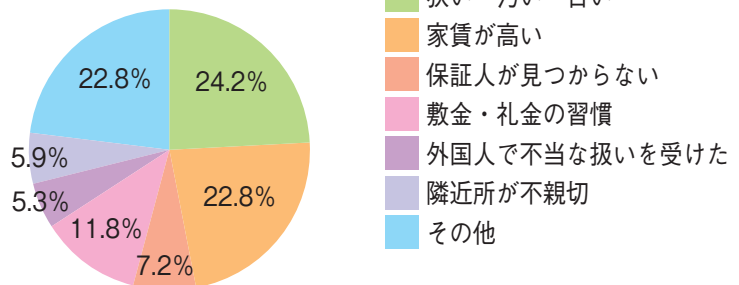
### 平成18(2006)年

内容	割合
狭い・汚い・古い	22.8%
家賃が高い	27.4%
保証人が見つからない	5.6%
敷金・礼金の習慣	14.7%
外国人で不当な扱いを受けた	4.1%
隣近所が不親切	10.2%
その他	15.2%
合計	100.0%



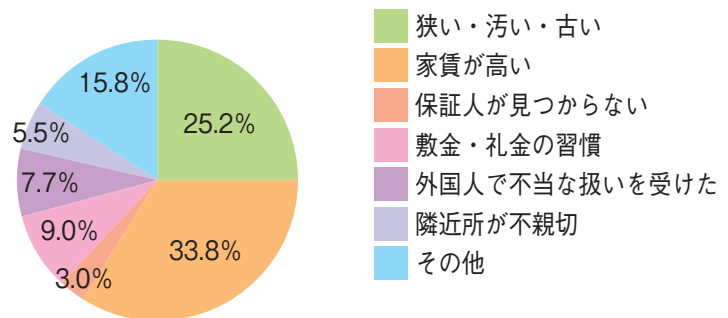
### 平成23(2011)年

内容	割合
狭い・汚い・古い	24.2%
家賃が高い	22.8%
保証人が見つからない	7.2%
敷金・礼金の習慣	11.8%
外国人で不当な扱いを受けた	5.3%
隣近所が不親切	5.9%
その他	22.8%
合計	100.0%



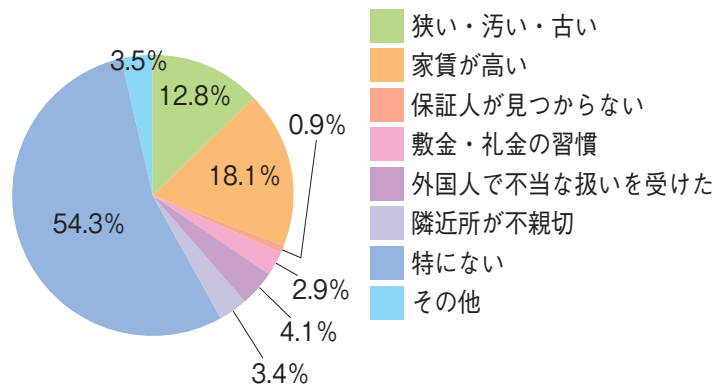
### 平成27(2015)年

内容	割合
狭い・汚い・古い	25.2%
家賃が高い	33.8%
保証人が見つからない	3.0%
敷金・礼金の習慣	9.0%
外国人で不当な扱いを受けた	7.7%
隣近所が不親切	5.5%
その他	15.8%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
狭い・汚い・古い	217	12.8%
家賃が高い	307	18.1%
保証人が見つからない	15	0.9%
敷金・礼金の習慣	49	2.9%
外国人で不当な扱いを受けた	69	4.1%
隣近所が不親切	57	3.4%
特にない	922	54.3%
その他	62	3.5%
合計	1,698	100.0%



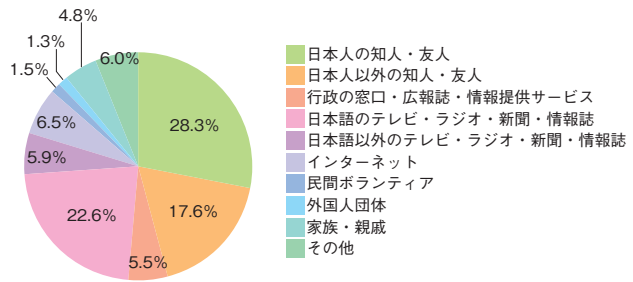
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

・会社の斡旋が多いせいか、家賃が高いという不満は割合は減少。

# 13 生活に必要な情報の主な入手先は何ですか。(すべて選んでください)

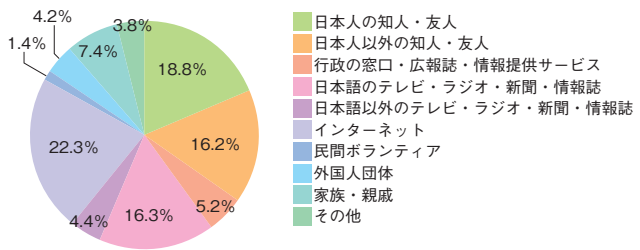
## 平成18(2006)年

内容	割合
日本人の知人・友人	28.3%
日本人以外の知人・友人	17.6%
行政の窓口・広報誌・情報提供サービス	5.5%
日本語のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	22.6%
日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	5.9%
インターネット	6.5%
民間ボランティア	1.5%
外国人団体	1.3%
家族・親戚	4.8%
その他	6.0%
合計	100.0%



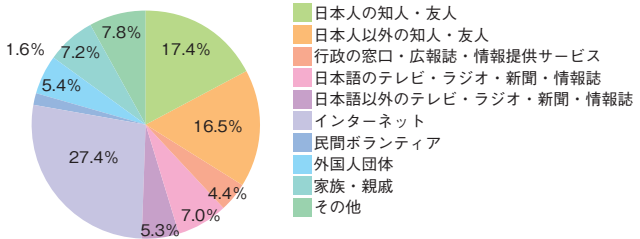
## 平成23(2011)年

内容	割合
日本人の知人・友人	18.8%
日本人以外の知人・友人	16.2%
行政の窓口・広報誌・情報提供サービス	5.2%
日本語のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	16.3%
日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	4.4%
インターネット	22.3%
民間ボランティア	1.4%
外国人団体	4.2%
家族・親戚	7.4%
その他	3.8%
合計	100.0%



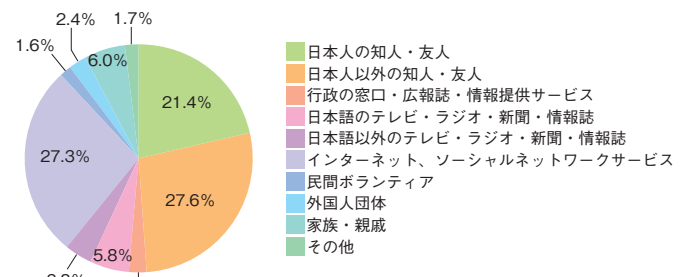
## 平成27(2015)年

内容	割合
日本人の知人・友人	17.4%
日本人以外の知人・友人	16.5%
行政の窓口・広報誌・情報提供サービス	4.4%
日本語のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	7.0%
日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	5.3%
インターネット	27.4%
民間ボランティア	1.6%
外国人団体	5.4%
家族・親戚	7.2%
その他	7.8%
合計	100.0%

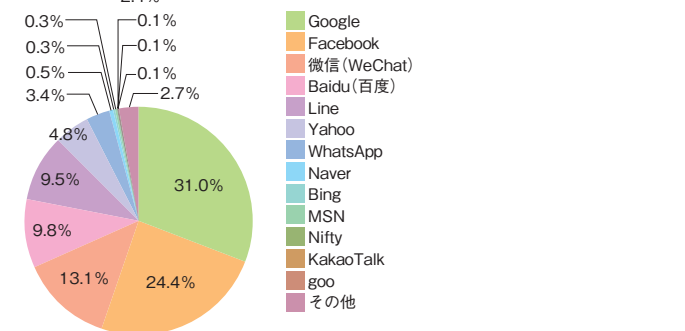


## 令和元(2019)年

内容	割合
日本人の知人・友人	21.4%
日本人以外の知人・友人	27.6%
行政の窓口・広報誌・情報提供サービス	2.4%
日本語のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	5.8%
日本語以外のテレビ・ラジオ・新聞・情報誌	3.8%
インターネット、ソーシャルネットワークサービス	27.3%
民間ボランティア	1.6%
外国人団体	2.4%
家族・親戚	6.0%
その他	1.7%
合計	100.0%



ランク	SNS	生活情報入手先	データ	割合
1	Google		443	31.0%
2	Facebook		349	24.4%
3	微信(WeChat)		188	13.1%
4	Baidu(百度)		140	9.8%
5	Line		136	9.5%
6	Yahoo		69	4.8%
7	WhatsApp		48	3.4%
8	Naver		7	0.5%
9	Bing		4	0.3%
10	MSN		4	0.3%
11	Nifty		2	0.1%
12	KakaoTalk		2	0.1%
13	goo		1	0.1%
14	その他		38	2.7%
	合計		1,431	100.0%



### 【令和元年の定点観測】

- ・SNSの利用は中華系とグローバル系に二分されている。  
(・twitterもなく、日本人でも利用していない和製SNSを選択肢に入れる必要があるのか疑問。)

### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

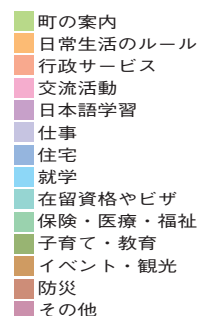
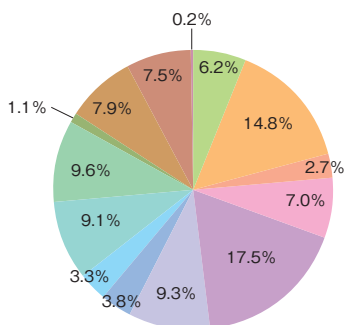
- ・引き続きインターネットでの情報収集が多いが、外国人同士の情報交換が増えている。



## 14 生活に必要なと思う情報は何ですか。(5つまで○をつけてください)

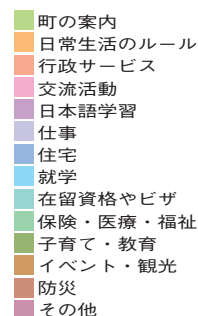
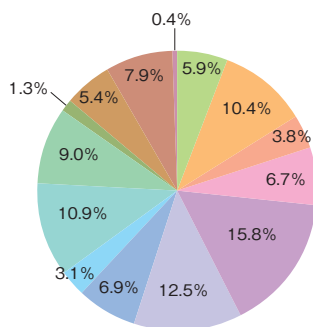
### 平成18(2006)年

内容	割合
町の案内	6.2%
日常生活のルール	14.8%
行政サービス	2.7%
交流活動	7.0%
日本語学習	17.5%
仕事	9.3%
住宅	3.8%
就学	3.3%
在留資格やビザ	9.1%
保険・医療・福祉	9.6%
子育て・教育	1.1%
イベント・観光	7.9%
防災	7.5%
その他	0.2%
合計	100.0%



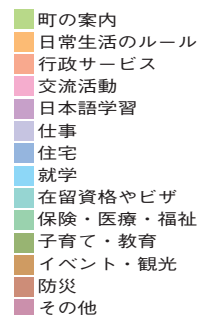
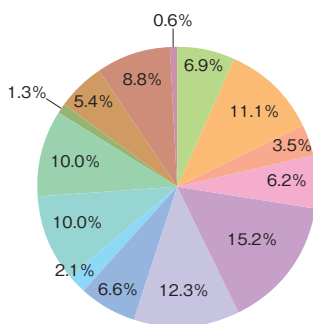
### 平成23(2011)年

内容	割合
町の案内	5.9%
日常生活のルール	10.4%
行政サービス	3.8%
交流活動	6.7%
日本語学習	15.8%
仕事	12.5%
住宅	6.9%
就学	3.1%
在留資格やビザ	10.9%
保険・医療・福祉	9.0%
子育て・教育	1.3%
イベント・観光	5.4%
防災	7.9%
その他	0.4%
合計	100.0%



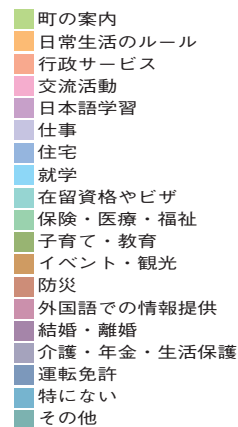
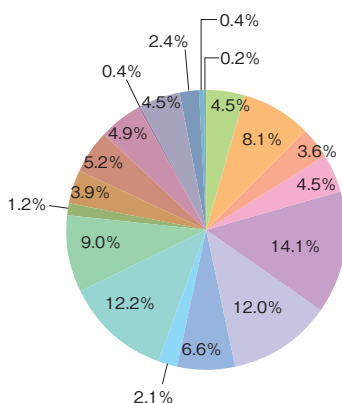
### 平成27(2015)年

内容	割合
町の案内	6.9%
日常生活のルール	11.1%
行政サービス	3.5%
交流活動	6.2%
日本語学習	15.2%
仕事	12.3%
住宅	6.6%
就学	2.1%
在留資格やビザ	10.0%
保険・医療・福祉	10.0%
子育て・教育	1.3%
イベント・観光	5.4%
防災	8.8%
その他	0.6%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	データ	割合
町の案内	277	4.5%
日常生活のルール	494	8.1%
行政サービス	220	3.6%
交流活動	277	4.5%
日本語学習	862	14.1%
仕事	738	12.0%
住宅	407	6.6%
就学	128	2.1%
在留資格やビザ	750	12.2%
保険・医療・福祉	553	9.0%
子育て・教育	74	1.2%
イベント・観光	237	3.9%
防災	321	5.2%
外国語での情報提供	299	4.9%
結婚・離婚	25	0.4%
介護・年金・生活保護	278	4.5%
運転免許	146	2.4%
特にない	26	0.4%
その他	13	0.2%
合計	6,125	100.0%



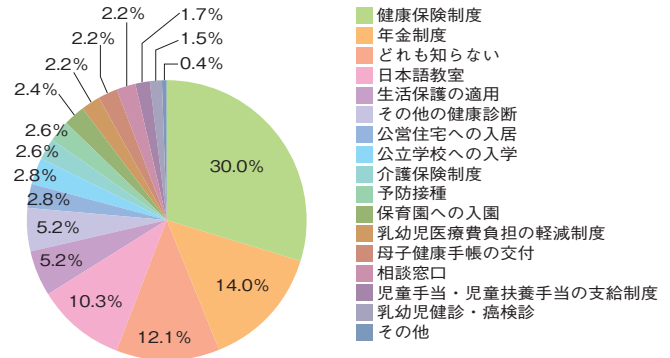
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

・変わらず日本語学習の情報がトップとなっている。

# 15 香川県の行政サービスや制度で知っているものはどれですか。(すべて選んでください)

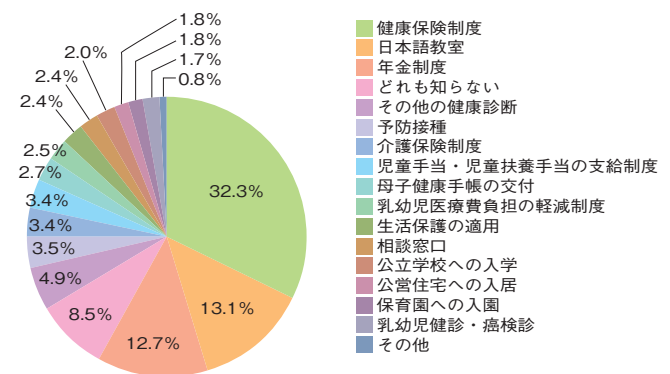
## 平成18(2006)年

ランク	内容	人数	割合
1	健康保険制度	139	30.0%
2	年金制度	65	14.0%
3	どれも知らない	56	12.1%
4	日本語教室	48	10.3%
5	生活保護の適用	24	5.2%
6	その他の健康診断	24	5.2%
7	公営住宅への入居	13	2.8%
8	公立学校への入学	13	2.8%
9	介護保険制度	12	2.6%
10	予防接種	12	2.6%
11	保育園への入園	11	2.4%
12	乳幼児医療費負担の軽減制度	10	2.2%
13	母子健康手帳の交付	10	2.2%
14	相談窓口	10	2.2%
15	児童手当・児童扶養手当の支給制度	8	1.7%
16	乳幼児健診・癌検診	7	1.5%
17	その他	2	0.4%
		464	100.0%



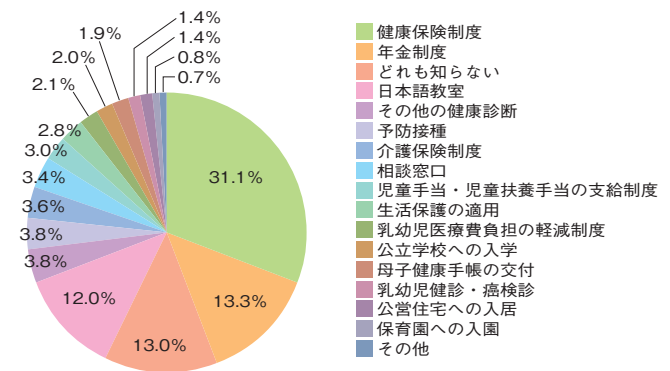
## 平成23(2011)年

ランク	内容	人数	割合
1	健康保険制度	569	32.3%
2	日本語教室	231	13.1%
3	年金制度	224	12.7%
4	どれも知らない	149	8.5%
5	その他の健康診断	87	4.9%
6	予防接種	61	3.5%
7	介護保険制度	59	3.4%
8	児童手当・児童扶養手当の支給制度	59	3.4%
9	母子健康手帳の交付	47	2.7%
10	乳幼児医療費負担の軽減制度	44	2.5%
11	生活保護の適用	43	2.4%
12	相談窓口	43	2.4%
13	公立学校への入学	36	2.0%
14	公営住宅への入居	32	1.8%
15	保育園への入園	32	1.8%
16	乳幼児健診・癌検診	30	1.7%
17	その他	14	0.8%
		1,760	100.0%



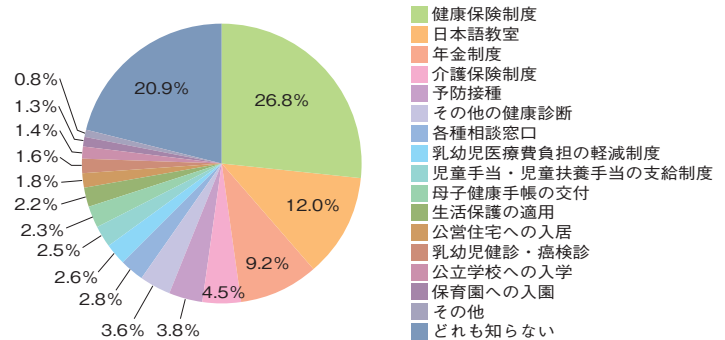
## 平成27(2015)年

ランク	内容	人数	割合
1	健康保険制度	777	31.1%
2	年金制度	334	13.3%
3	どれも知らない	326	13.0%
4	日本語教室	300	12.0%
5	その他の健康診断	95	3.8%
6	予防接種	94	3.8%
7	介護保険制度	89	3.6%
8	相談窓口	85	3.4%
9	児童手当・児童扶養手当の支給制度	76	3.0%
10	生活保護の適用	69	2.8%
11	乳幼児医療費負担の軽減制度	53	2.1%
12	公立学校への入学	49	2.0%
13	母子健康手帳の交付	47	1.9%
14	乳幼児健診・癌検診	36	1.4%
15	公営住宅への入居	34	1.4%
16	保育園への入園	21	0.8%
17	その他	17	0.7%
		2,502	100.0%



## 令和元(2019)年

ランク	内容	人数	割合
1	健康保険制度	708	26.8%
2	日本語教室	317	12.0%
3	年金制度	242	9.2%
4	介護保険制度	118	4.5%
5	予防接種	101	3.8%
6	その他の健康診断	96	3.6%
7	各種相談窓口	73	2.8%
8	乳幼児医療費負担の軽減制度	70	2.6%
9	児童手当・児童扶養手当の支給制度	65	2.5%
10	母子健康手帳の交付	62	2.3%
11	生活保護の適用	58	2.2%
12	公営住宅への入居	48	1.8%
13	乳幼児健診・癌検診	42	1.6%
14	公立学校への入学	38	1.4%
15	保育園への入園	34	1.3%
16	その他	20	0.8%
17	どれも知らない	552	20.9%
		2,644	100.0%



### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

・行政サービスや制度を知らずに来日する外国人が増加傾向。

## 16 行政サービスに要望したいことは何ですか。(5つまで○をつけてください)

### 平成18(2006)年

ランク	内容	人数	割合
1	制度やサービスを総合的に多言語で情報提供	91	11.8%
2	日本語教室を充実させる	63	8.2%
3	申請・届出書類や通知文書などの多言語化	56	7.3%
4	日本人に対する異文化理解の充実	54	7.0%
5	パンフレットや資料の多言語化	51	6.6%
6	申請・届出手続きの簡素化	49	6.3%
7	申請・届出書類や通知文書などにふりがなをふる	45	5.8%
8	町の表示絵文字や多言語併記を増やす	44	5.7%
9	日本人の人権尊重意識を高める	43	5.6%
10	外国語で対応できる職員を増やす	40	5.2%
11	広報の多言語化	39	5.1%
12	生活一般の情報を多言語で提供	35	4.5%
13	外国語での相談窓口の提供	31	4.0%
14	広報にふりがなをふる	30	3.9%
15	必要なとき(医療機関や公的機関など)での通訳派遣	28	3.6%
16	外国出身者と日本人の交流や相互理解の機会の提供	27	3.5%
17	図書館の外国語資料の充実	25	3.2%
18	公文書等に西暦を使用する	18	2.3%
19	その他	3	0.4%
		772	100.0%

### 平成23(2011)年

ランク	内容	人数	割合
1	外国出身者と日本人の交流や相互理解の機会を提供する	332	9.9%
2	制度やサービスを総合的に多言語で情報提供する	317	9.5%
3	外国語で対応できる職員を増やす	245	7.3%
4	外国語での相談窓口のを充実させる	218	6.5%
5	日本語教室を充実させる	218	6.5%
6	日本人に対する異文化理解を充実させる	206	6.2%
7	申請・届出書類や通知文書などを多言語化する	202	6.0%
8	広報を多言語化する	201	6.0%
9	生活一般の情報を多言語で提供する	191	5.7%
10	必要なとき(医療機関や公的機関など)での通訳派遣をする	188	5.6%
11	日本人の人権尊重意識を高める	157	4.7%
12	パンフレットや資料を多言語化する	145	4.3%
13	図書館の外国語資料を充実させる	143	4.3%
14	申請や届出手続きを簡素化する	140	4.2%
15	町の表示絵文字や多言語併記を増やす	125	3.7%
16	申請・届出書類や通知文書などにふりがなをふる	115	3.4%
17	公文書等に西暦を使用する	87	2.6%
18	広報にふりがなをふる	87	2.6%
19	その他	25	0.7%
		3,342	100.0%

### 平成27(2015)年

ランク	内容	人数	割合
1	制度やサービスを総合的に多言語で情報提供する	568	11.2%
2	外国出身者と日本人の交流や相互理解の機会を提供する	487	9.6%
3	必要なとき(医療機関や公的機関など)での通訳派遣をする	360	7.1%
4	外国語で対応できる職員を増やす	335	6.6%
5	外国語での相談窓口のを充実させる	347	6.9%
6	日本語教室を充実させる	328	6.5%
7	申請・届出書類や通知文書などを多言語化する	327	6.5%
8	生活一般の情報を多言語で提供する	297	5.9%
9	広報を多言語化する	292	5.8%
10	日本人に対する異文化理解を充実させる	268	5.3%
11	パンフレットや資料を多言語化する	263	5.2%
12	町の表示絵文字や多言語併記を増やす	208	4.1%
13	申請・届出書類や通知文書などにふりがなをふる	206	4.1%
14	日本人の人権尊重意識を高める	198	3.9%
15	図書館の外国語資料を充実させる	152	3.0%
16	申請や届出手続きを簡素化する	150	3.0%
17	広報にふりがなをふる	120	2.4%
18	公文書等に西暦を使用する	104	2.1%
19	その他	41	0.8%
		5,051	100.0%

### 令和元(2019)年

ランク	内容	人数	割合
1	制度やサービスを多言語で情報提供する	827	15.9%
2	申請や届出などの書類を多言語化する	469	9.0%
3	外国人住民と日本人との交流や相互理解の機会を提供する	418	8.0%
4	日本語教室を充実させる	370	7.1%
5	外国語で対応できる職員を増やす	323	6.2%
6	外国語での相談窓口を充実させる	298	5.7%
7	申請や届出手続きを簡単にする	285	5.5%
8	広報を多言語化する	276	5.3%
9	必要なとき(医療機関や公的機関など)の通訳派遣をする	276	5.3%
10	生活一般の情報を多言語で提供する	267	5.1%
11	日本人の異文化への理解を進める	263	5.1%
12	申請・届出などの書類にふりがなをふる	247	4.7%
13	パンフレットや資料を多言語化する	216	4.1%
14	広報にふりがなをふる	190	3.7%
15	町の表示絵文字や多言語併記を増やす	138	2.7%
16	日本人の人権尊重意識を高める	136	2.6%
17	図書館の外国語資料を充実させる	116	2.2%
18	文書等には西暦を使用する	68	1.3%
19	その他	22	0.4%
		5,205	100.0%

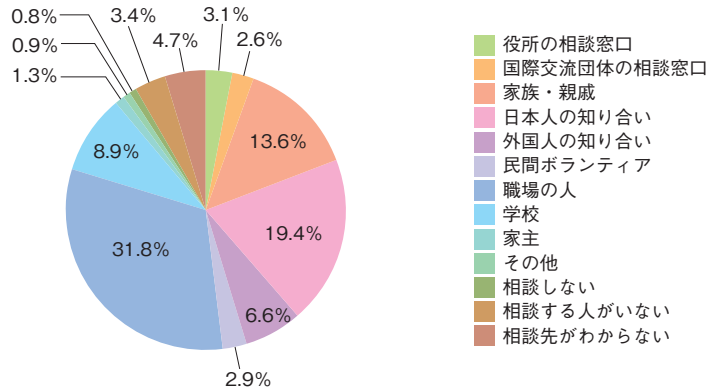
【平成18年からの過去3回との経年比較】

・引き続き行政の多言語対応の要望が多い。

## 17 困ったときの相談先はどこですか。

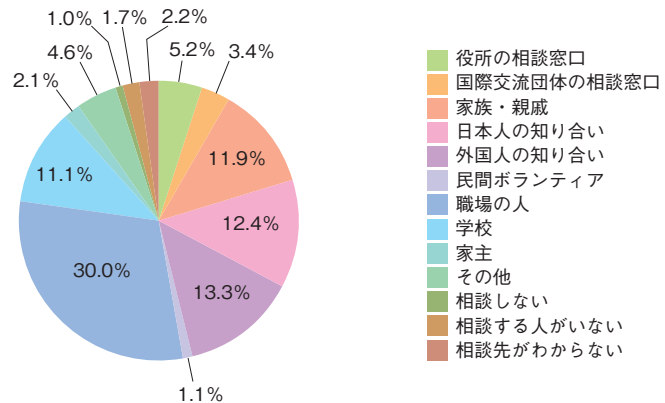
### 平成18(2006)年

困ったときの相談先	割合
役所の相談窓口	3.1%
国際交流団体の相談窓口	2.6%
家族・親戚	13.6%
日本人の知り合い	19.4%
外国人の知り合い	6.6%
民間ボランティア	2.9%
職場の人	31.8%
学校	8.9%
家主	1.3%
その他	0.9%
相談しない	0.8%
相談する人がいない	3.4%
相談先がわからない	4.7%
合計	100.0%



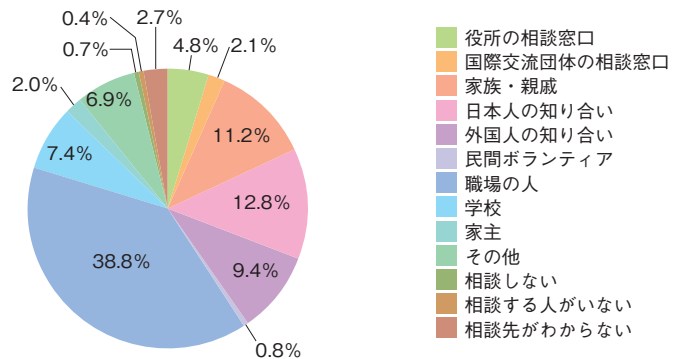
### 平成23(2011)年

困ったときの相談先	割合
役所の相談窓口	5.2%
国際交流団体の相談窓口	3.4%
家族・親戚	11.9%
日本人の知り合い	12.4%
外国人の知り合い	13.3%
民間ボランティア	1.1%
職場の人	30.0%
学校	11.1%
家主	2.1%
その他	4.6%
相談しない	1.0%
相談する人がいない	1.7%
相談先がわからない	2.2%
合計	100.0%



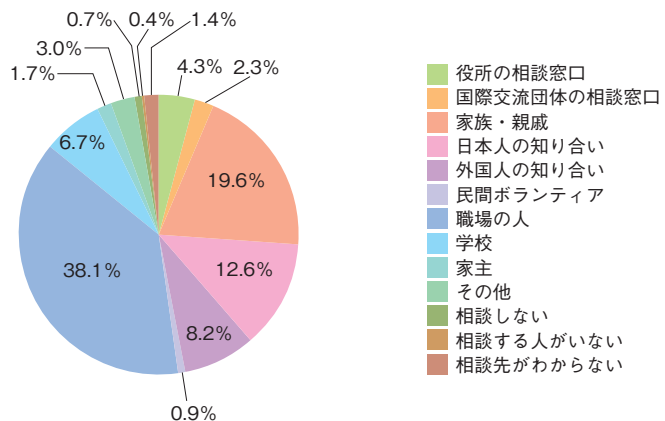
### 平成27(2015)年

困ったときの相談先	割合
役所の相談窓口	4.8%
国際交流団体の相談窓口	2.1%
家族・親戚	11.2%
日本人の知り合い	12.8%
外国人の知り合い	9.4%
民間ボランティア	0.8%
職場の人	38.8%
学校	7.4%
家主	2.0%
その他	6.9%
相談しない	0.7%
相談する人がいない	0.4%
相談先がわからない	2.7%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

困ったときの相談先	人数	割合
役所の相談窓口	97	4.3%
国際交流団体の相談窓口	51	2.3%
家族・親戚	437	19.6%
日本人の知り合い	280	12.6%
外国人の知り合い	183	8.2%
民間ボランティア	21	0.9%
職場の人	849	38.1%
学校	150	6.7%
家主	39	1.7%
その他	66	3.0%
相談しない	15	0.7%
相談する人がいない	10	0.4%
相談先がわからない	32	1.4%
合計	2,230	100.0%



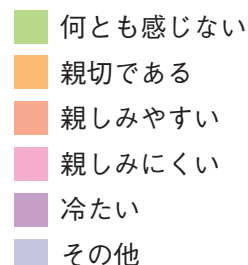
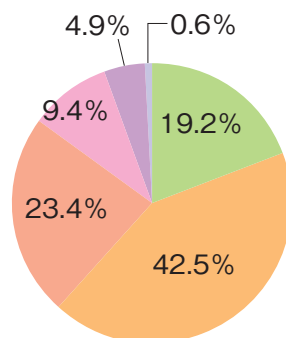
【平成18年からの過去3回との経年比較】

・変わらず職場や身近な人たちに相談しており、行政等に頼ることは少ない。

## 18 まわりに住んでいる人について教えてください。

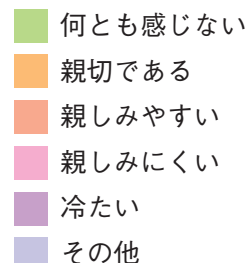
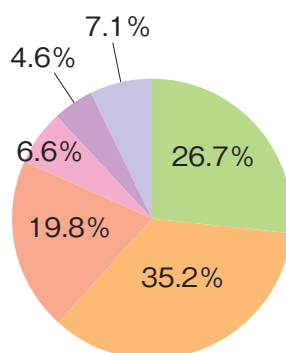
### 平成18(2006)年

内容	割合
何とも感じない	19.2%
親切である	42.5%
親しみやすい	23.4%
親しみにくい	9.4%
冷たい	4.9%
その他	0.6%
合計	100.0%



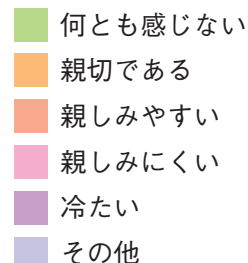
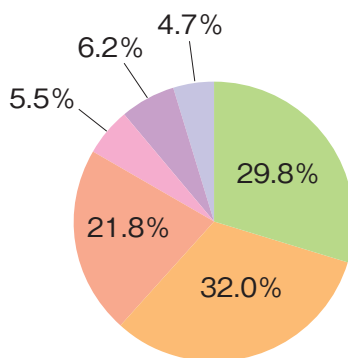
### 平成23(2011)年

内容	割合
何とも感じない	26.7%
親切である	35.2%
親しみやすい	19.8%
親しみにくい	6.6%
冷たい	4.6%
その他	7.1%
合計	100.0%



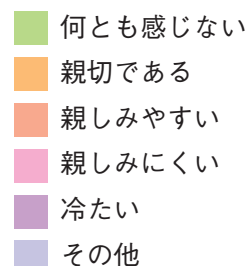
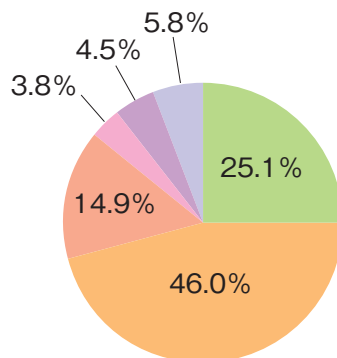
### 平成27(2015)年

内容	割合
何とも感じない	29.8%
親切である	32.0%
親しみやすい	21.8%
親しみにくい	5.5%
冷たい	6.2%
その他	4.7%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
何とも感じない	422	25.1%
親切である	774	46.0%
親しみやすい	251	14.9%
親しみにくい	64	3.8%
冷たい	75	4.5%
その他	97	5.8%
合計	1,683	100.0%



#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

・引き続き半数以上は好意的に受け止めている。

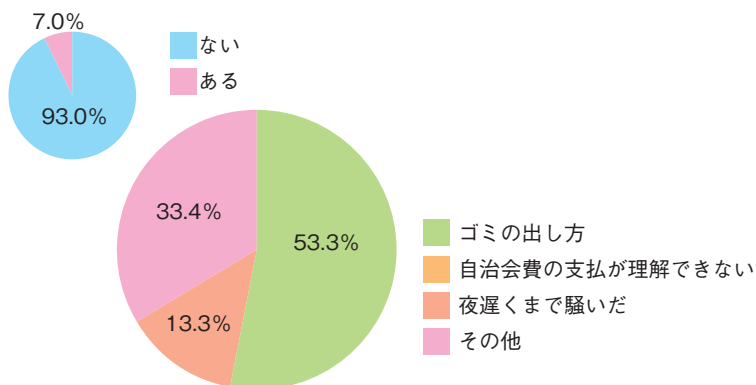
## 19 まわりに住んでいる人とトラブルになったことはありますか。

### 平成18(2006)年

内容	割合
ない	93.0%
ある	7.0%
合計	100.0%

それはどのような問題ですか？

内容	割合
ゴミの出し方	53.3%
自治会費の支払が理解できない	0.0%
夜遅くまで騒いだ	13.3%
その他	33.4%
合計	100.0%

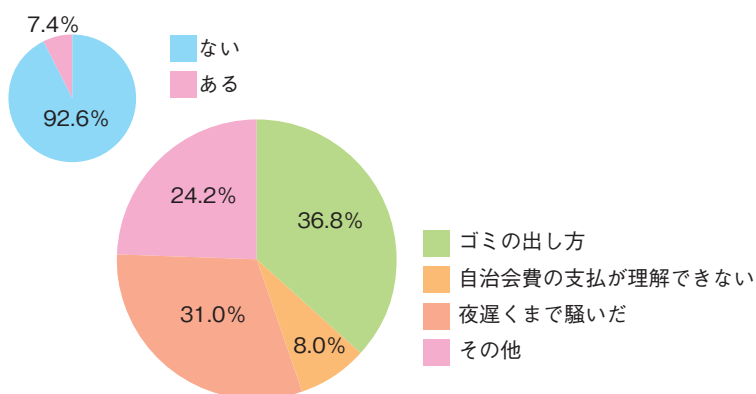


### 平成23(2011)年

内容	割合
ない	92.6%
ある	7.4%
合計	100.0%

それはどのような問題ですか？

内容	割合
ゴミの出し方	36.8%
自治会費の支払が理解できない	8.0%
夜遅くまで騒いだ	31.0%
その他	24.2%
合計	100.0%

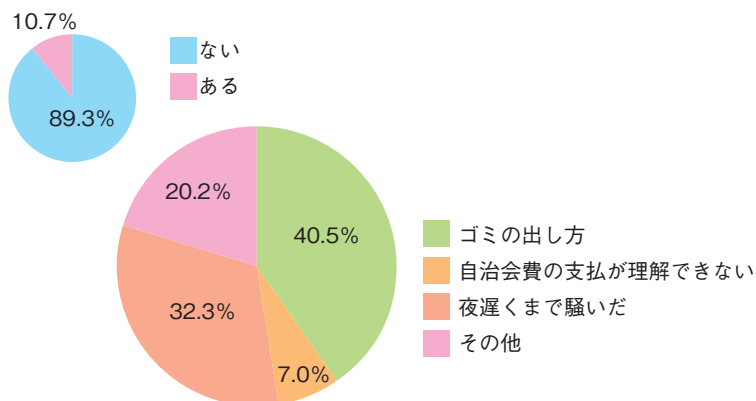


### 平成27(2015)年

内容	割合
ない	89.3%
ある	10.7%
合計	100.0%

それはどのような問題ですか？

内容	割合
ゴミの出し方	40.5%
自治会費の支払が理解できない	7.0%
夜遅くまで騒いだ	32.3%
その他	20.2%
合計	100.0%

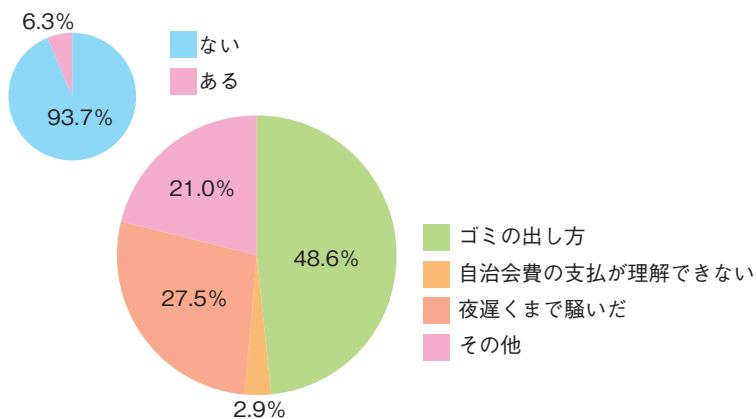


### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
ない	1424	93.7%
ある	95	6.3%
合計	1,519	100.0%

それはどのような問題ですか？

内容	人数	割合
ゴミの出し方	67	48.6%
自治会費の支払が理解できない	4	2.9%
夜遅くまで騒いだ	38	27.5%
その他	29	21.0%
合計	138	100.0%



#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・トラブルは1割程度で変化なく、割合も減少している。



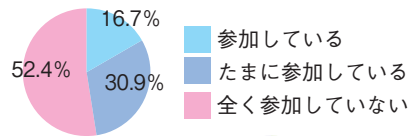
## 20 自治会や町内会の行事への参加について教えてください。

### 平成18(2006)年

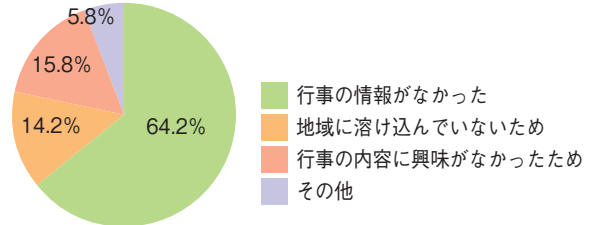
内容	割合
参加している	16.7%
たまに参加している	30.9%
全く参加していない	52.4%
合計	100.0%

全く参加していない理由

内容	割合
行事の情報がなかった	64.2%
地域に溶け込んでいないため	14.2%
行事の内容に興味がなかったため	15.8%
その他	5.8%
合計	100.0%



参加している  
たまに参加している  
全く参加していない



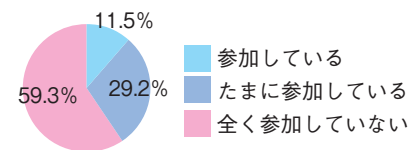
行事の情報がなかった  
地域に溶け込んでいないため  
行事の内容に興味がなかったため  
その他

### 平成23(2011)年

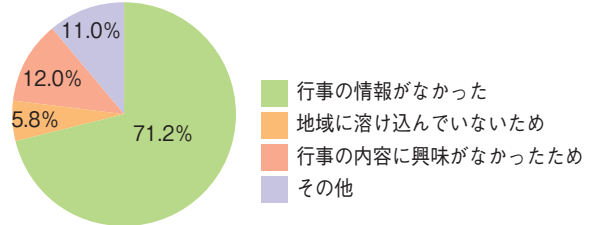
内容	割合
参加している	11.5%
たまに参加している	29.2%
全く参加していない	59.3%
合計	100.0%

全く参加していない理由

内容	割合
行事の情報がなかった	71.2%
地域に溶け込んでいないため	5.8%
行事の内容に興味がなかったため	12.0%
その他	11.0%
合計	100.0%



参加している  
たまに参加している  
全く参加していない



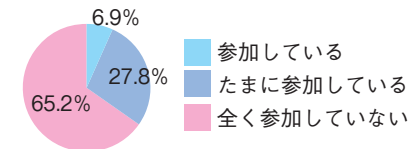
行事の情報がなかった  
地域に溶け込んでいないため  
行事の内容に興味がなかったため  
その他

### 平成27(2015)年

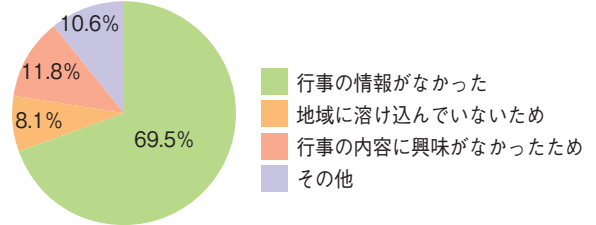
内容	割合
参加している	6.9%
たまに参加している	27.8%
全く参加していない	65.2%
合計	99.9%

全く参加していない理由

内容	割合
行事の情報がなかった	69.5%
地域に溶け込んでいないため	8.1%
行事の内容に興味がなかったため	11.8%
その他	10.6%
合計	100.0%



参加している  
たまに参加している  
全く参加していない



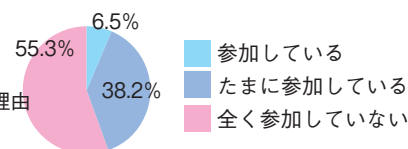
行事の情報がなかった  
地域に溶け込んでいないため  
行事の内容に興味がなかったため  
その他

### 令和元(2019)年

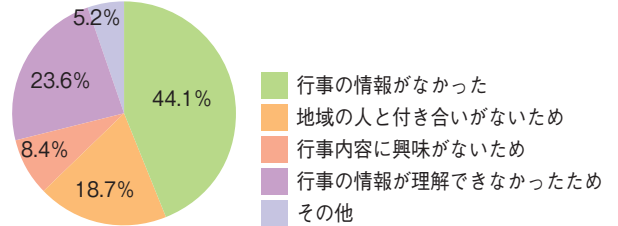
内容	人数	割合
参加している	96	6.5%
たまに参加している	568	38.2%
全く参加していない	822	55.3%
合計	1,486	100.0%

全く参加していない理由

内容	人数	割合
行事の情報がなかった	331	44.1%
地域の人と付き合いがないため	140	18.7%
行事内容に興味がなかったため	63	8.4%
行事の情報が理解できなかったため	177	23.6%
その他	39	5.2%
合計	750	100.0%



参加している  
たまに参加している  
全く参加していない



行事の情報がなかった  
地域の人と付き合いがないため  
行事内容に興味がなかったため  
行事の情報が理解できなかったため  
その他

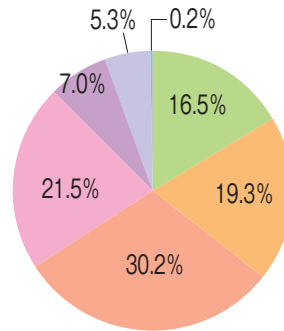
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・「全く参加していない」の割合が初めて減少した。
- ・「行事の情報がなかった」という理由が減少傾向。

## 21 まわりの日本人との間で希望する交流は何ですか。

### 平成18(2006)年

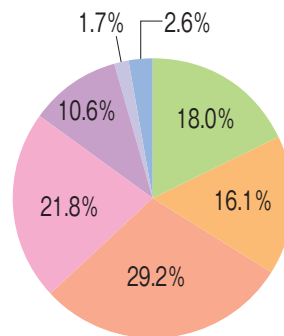
内容	割合
もっと親しくなりたい	16.5%
地域の行事などに参加したい	19.3%
もっと日本人の習慣などを教えてほしい	30.2%
互いに文化交流をしたい	21.5%
ボランティア活動などに参加したい	7.0%
交流したくない	5.3%
その他	0.2%
合計	100.0%



- もっと親しくなりたい
- 地域の行事などに参加したい
- もっと日本人の習慣などを教えてほしい
- 互いに文化交流をしたい
- ボランティア活動などに参加したい
- 交流したくない
- その他

### 平成23(2011)年

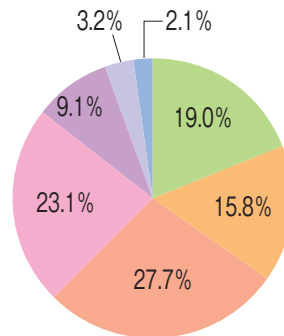
内容	割合
もっと親しくなりたい	18.0%
地域の行事などに参加したい	16.1%
もっと日本人の習慣などを教えてほしい	29.2%
互いに文化交流をしたい	21.8%
ボランティア活動などに参加したい	10.6%
交流したくない	1.7%
その他	2.6%
合計	100.0%



- もっと親しくなりたい
- 地域の行事などに参加したい
- もっと日本人の習慣などを教えてほしい
- 互いに文化交流をしたい
- ボランティア活動などに参加したい
- 交流したくない
- その他

### 平成27(2015)年

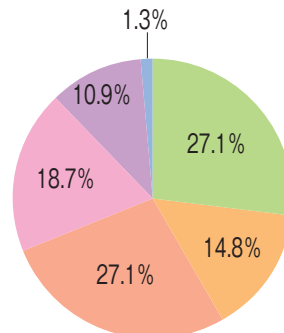
内容	割合
もっと親しくなりたい	19.0%
地域の行事などに参加したい	15.8%
もっと日本人の習慣などを教えてほしい	27.7%
互いに文化交流をしたい	23.1%
ボランティア活動などに参加したい	9.1%
交流したくない	3.2%
その他	2.1%
合計	100.0%



- もっと親しくなりたい
- 地域の行事などに参加したい
- もっと日本人の習慣などを教えてほしい
- 互いに文化交流をしたい
- ボランティア活動などに参加したい
- 交流したくない
- その他

### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
もっと親しくなりたい	555	27.1%
地域の行事などに参加したい	304	14.8%
もっと日本人の習慣などを教えてほしい	556	27.1%
互いに文化交流をしたい	384	18.7%
ボランティア活動などに参加したい	224	10.9%
交流したくない	0	0.0%
その他	26	1.3%
合計	2,049	100.0%



- もっと親しくなりたい
- 地域の行事などに参加したい
- もっと日本人の習慣などを教えてほしい
- 互いに文化交流をしたい
- ボランティア活動などに参加したい
- 交流したくない
- その他

#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・「もっと親しくなりたい」の割合が増加傾向。



## 22 まわりに住んでいる日本人の生活や行動で理解できないことはありますか。

### 平成18(2006)年

内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の人をめったに見かけないので、よく分からない。</li> <li>・ある人たちだけが清掃活動に参加しているのか理解できない。</li> <li>・ゴミをどのように、いつ捨てるのかわからない。</li> <li>・暴走族が爆音をたてて走る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミは外国人の犯罪の報道にこだわっているのでは。</li> <li>・中国人に対して冷たい。</li> <li>・野良犬を保護するところがない。</li> <li>・言っていることが曖昧でよくわからない。</li> <li>・行事予定を教えてくれない。</li> <li>・ゴミが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日の朝など、外でゴミを燃やす</li> <li>・拡声器によるアナウンス。</li> <li>・アパートで犬を飼っている。</li> <li>・老人の多くが病院へ通っている。</li> <li>・風呂に入るとき同じお湯につかる。</li> </ul>

### 平成23(2011)年

内容		
<p>1. 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーが多すぎる、ややこしい。</li> <li>・上下関係が厳しい。</li> </ul> <p>2. 日本人の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめが多い。</li> <li>・外国人差別がある。</li> <li>・一定の距離を保っている。</li> <li>・日本語ができないためにコミュニケーションをとれず、友人を作れない。</li> <li>・親しくなりづらい。冷たい。</li> </ul>	<p>3. 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の駐輪の仕方がひどい。</li> <li>・人のプライバシーを侵害する。</li> </ul> <p>4. 仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間が長すぎる（サービス残業など）。</li> <li>・日本人にくらべて給料が少ない。</li> </ul> <p>5. ライフスタイル（習慣、慣習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字がわからないため、漢字を使った告知が理解できない。</li> <li>・運転マナーが悪い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教に対する理解が少ない。</li> <li>・日本人は分刻みで行動しており、気持ちに余裕がない。</li> <li>・男女が公平に扱われていない。</li> <li>・生活様式、習慣、慣習など全て理解できない。</li> <li>・単身世帯の増加、核家族化の進行により人情が希薄になっている。</li> </ul> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の人との交流がない。</li> </ul>

### 平成27(2015)年

内容		
<p>1. 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下関係が厳しい。</li> </ul> <p>2. 日本人の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷たい。</li> <li>・いつも笑っている。</li> <li>・言い方がとても回りくどい。</li> <li>・互いに信頼していない。</li> <li>・淡白さに驚く。</li> <li>・親切でない。</li> </ul> <p>3. 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜中に暴走族がうるさい。</li> <li>・公道にライトが少ない。</li> </ul>	<p>4. 仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に疲れ切っている。</li> <li>・お店の営業時間が短い。</li> </ul> <p>5. ライフスタイル（習慣、慣習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫を飼っている人が多い。</li> <li>・みんな忙しくなかなか会えない。</li> <li>・カーテンを閉め切っている。</li> <li>・生活様式、習慣、慣習など理解できない。</li> <li>・パチンコが好き。</li> <li>・自転車が好き。</li> <li>・祭りの際に、何を祝っているのかわからない。</li> <li>・天気が悪くても犬が外で縛られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人との接触を避ける。子供に対して手を振り挨拶することを禁止されている。</li> <li>・信号を守らない人をよく見かける。</li> <li>・ルールが多すぎる。</li> </ul> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町に人が少ない。</li> <li>・日本語が理解できない。</li> <li>・意見しない。</li> <li>・日本人の考え方が理解できない。</li> </ul>

### 令和元(2019)年

内容		
<p>1. 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールに厳しい。</li> </ul> <p>2. 日本人の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人は本音を言わない。</li> <li>・外国人の気持ちや意見を気にしない。</li> <li>・挨拶をしても静かにしてと言われる。</li> <li>・コミュニケーションがない。</li> <li>・何度も怒る。</li> <li>・女性として扱われない。</li> <li>・少し気難しい。</li> <li>・学校や職場で人によって言うことが違う。</li> <li>・親類が難しい。</li> <li>・静か（過る）。</li> </ul> <p>3. 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜、車の音がうるさい。</li> <li>・真夜中に騒ぐ。</li> <li>・商店街に並ぶ自転車。</li> <li>・プラスチックが多すぎる。例えばレジ袋。</li> </ul>	<p>4. 仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沢山仕事をする。</li> <li>・年をとっても働く。</li> <li>・長時間労働。</li> <li>・飲み会が多い。</li> <li>・家族をないがしろにして働くこと。</li> </ul> <p>5. ライフスタイル（習慣、慣習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物を買うために多くの規制がある。</li> <li>・夜の活動が広範囲。</li> <li>・トイレの後、石鹸で手を洗わない。</li> <li>・家の内や外でこまめに電気を消す。</li> <li>・ゴミ捨てるのシステム。</li> <li>・週末、家族と過ごす時間を大切にしない。</li> <li>・近所に関心がない。</li> <li>・お祝いのお返しが多い。</li> <li>・日本人は約束事が多い。</li> </ul>	<p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣人同士で話さない。（知らない）</li> <li>・趣味の共有や集まりが不足。</li> <li>・日本文化。（日本語、伝統等）（多数）</li> <li>・喫煙すること。</li> <li>・外国人の署名を禁止している。</li> <li>・日常生活で何を優先しているのかわからない。</li> <li>・車のスピードの出し過ぎ。</li> <li>・二面性。</li> <li>・要望が体现されない。</li> <li>・外国人の福祉について考えない。</li> <li>・自分が日本人だからと得意になっている。</li> <li>・自分を好きになれない。</li> <li>・女性が自由に服を着られない。</li> <li>・交通ルールは守らない。特に運転手。</li> <li>・ほとんどの日本人は直感的。</li> </ul>

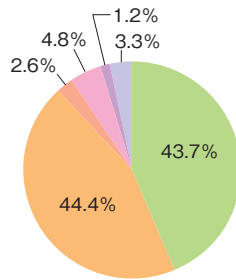
### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・引き続き先進国から見た日本人の働き方に対しての指摘も多いが、世相を反映してか、技能実習生と見聞きアジア系の人々から、差別に対する意見が増えている。

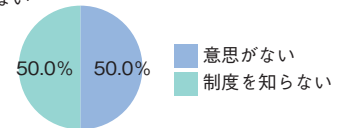
## 23 健康保険に加入していますか。

### 平成18(2006)年

内容	割合
国民健康保険に加入している	43.7%
職場の健康保険に加入している	44.4%
母国の健康保険が適用できる	2.6%
その他	4.8%
わからない	1.2%
加入していない	3.3%
合計	100.0%



■ 国民健康保険に加入している  
■ 職場の健康保険に加入している  
■ 母国の健康保険が適用できる  
■ その他  
■ わからない  
■ 加入していない

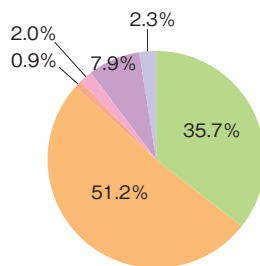


内容	割合
意思がない	50.0%
制度を知らない	50.0%
合計	100.0%

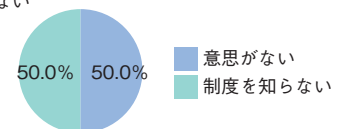
加入していない理由

### 平成23(2011)年

内容	割合
国民健康保険に加入している	35.7%
職場の健康保険に加入している	51.2%
母国の健康保険が適用できる	0.9%
その他	2.0%
わからない	7.9%
加入していない	2.3%
合計	100.0%



■ 国民健康保険に加入している  
■ 職場の健康保険に加入している  
■ 母国の健康保険が適用できる  
■ その他  
■ わからない  
■ 加入していない

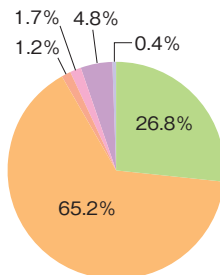


内容	割合
意思がない	50.0%
制度を知らない	50.0%
合計	100.0%

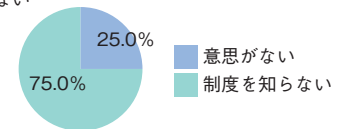
加入していない理由

### 平成27(2015)年

内容	割合
国民健康保険に加入している	26.8%
職場の健康保険に加入している	65.2%
母国の健康保険が適用できる	1.2%
その他	1.7%
わからない	4.8%
加入していない	0.4%
合計	100.1%



■ 国民健康保険に加入している  
■ 職場の健康保険に加入している  
■ 母国の健康保険が適用できる  
■ その他  
■ わからない  
■ 加入していない

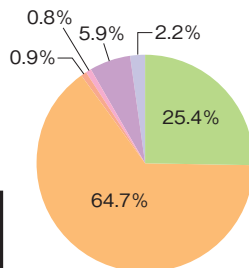


内容	割合
意思がない	25.0%
制度を知らない	75.0%
合計	100.0%

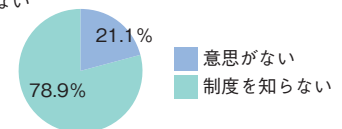
加入していない理由

### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
国民健康保険に加入している	408	25.4%
職場の健康保険に加入している	1,038	64.7%
母国の健康保険が適用できる	15	0.9%
その他	13	0.8%
わからない	95	5.9%
加入していない	35	2.2%
総計	1,604	100.0%



■ 国民健康保険に加入している  
■ 職場の健康保険に加入している  
■ 母国の健康保険が適用できる  
■ その他  
■ わからない  
■ 加入していない



内容	人数	割合
意思がない	4	21.1%
制度を知らない	15	78.9%
総計	19	100.0%

加入していない理由

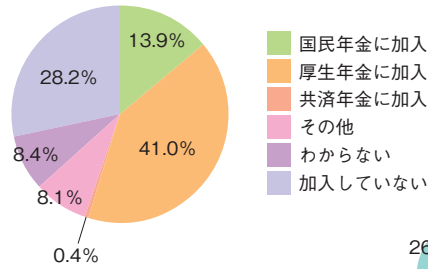
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・職場の健康保険加入者が増加傾向。個人で来日するよりも仕事で来日する割合が増えた結果か。
- ・「加入していない理由」として、「制度を知らない」の割合が確実に増加傾向。

## 24 公的年金に加入していますか。

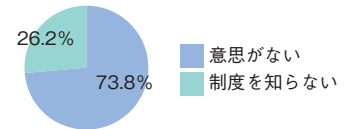
### 平成18(2006)年

内容	割合
国民年金に加入	13.9%
厚生年金に加入	41.0%
共済年金に加入	0.4%
その他	8.1%
わからない	8.4%
加入していない	28.2%
合計	100.0%



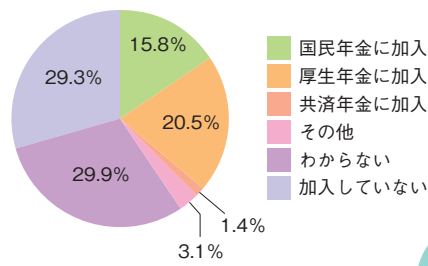
内容	割合
意思がない	73.8%
制度を知らない	26.2%
合計	100.0%

加入していない理由



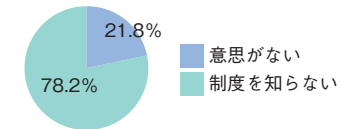
### 平成23(2011)年

内容	割合
国民年金に加入	15.8%
厚生年金に加入	20.5%
共済年金に加入	1.4%
その他	3.1%
わからない	29.9%
加入していない	29.3%
合計	100.0%



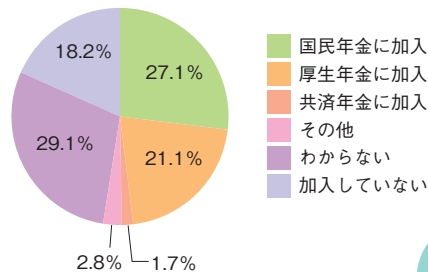
内容	割合
意思がない	21.8%
制度を知らない	78.2%
合計	100.0%

加入していない理由



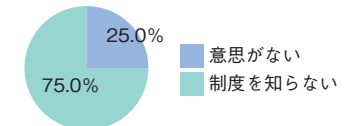
### 平成27(2015)年

内容	割合
国民年金に加入	27.1%
厚生年金に加入	21.1%
共済年金に加入	1.7%
その他	2.8%
わからない	29.1%
加入していない	18.2%
合計	100.0%



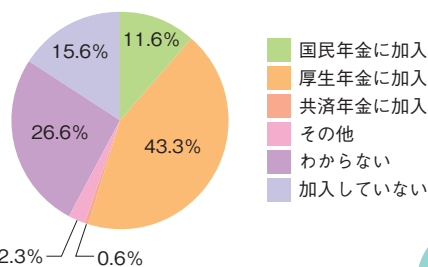
内容	割合
意思がない	25.0%
制度を知らない	75.0%
合計	100.0%

加入していない理由



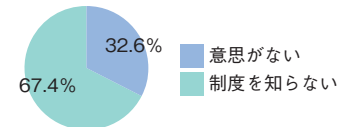
### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
国民年金に加入	178	11.6%
厚生年金に加入	668	43.3%
共済年金に加入	9	0.6%
その他	36	2.3%
わからない	410	26.6%
加入していない	240	15.6%
合計	1,541	100.0%



内容	人数	割合
意思がない	56	32.6%
制度を知らない	116	67.4%
合計	172	100.0%

加入していない理由



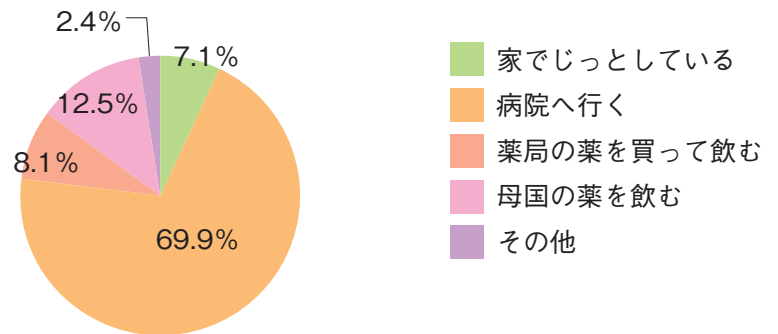
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・年金の未加入者の割合は減少傾向。
- ・「分からない」の割合も4分の1以上に上る。
- ・「制度を知らない」の割合は依然半数以上、7割近くを占める。

## 25 病気やけがの場合はどうしていますか

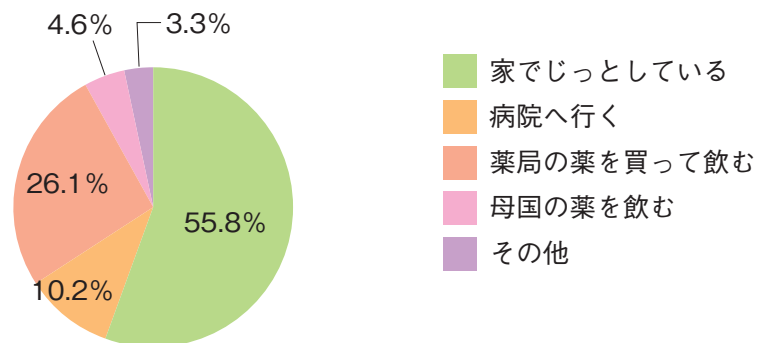
平成18(2006)年

内容	割合
家でじっとしている	7.1%
病院へ行く	69.9%
薬局の薬を買って飲む	8.1%
母国の薬を飲む	12.5%
その他	2.4%
合計	100.0%



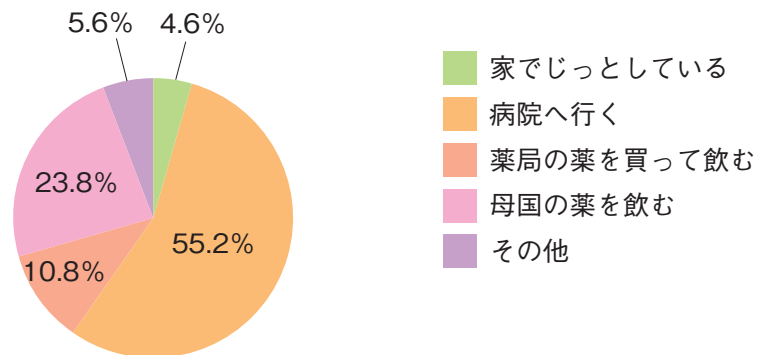
平成23(2011)年

内容	割合
家でじっとしている	55.8%
病院へ行く	10.2%
薬局の薬を買って飲む	26.1%
母国の薬を飲む	4.6%
その他	3.3%
合計	100.0%



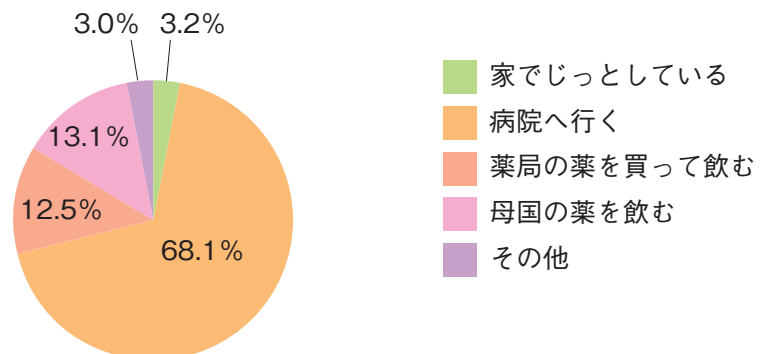
平成27(2015)年

内容	割合
家でじっとしている	4.6%
病院へ行く	55.2%
薬局の薬を買って飲む	10.8%
母国の薬を飲む	23.8%
その他	5.6%
合計	100.0%



令和元(2019)年

内容	人数	割合
家でじっとしている	57	3.2%
病院へ行く	1,210	68.1%
薬局の薬を買って飲む	222	12.5%
母国の薬を飲む	233	13.1%
その他	54	3.0%
合計	1,776	100.0%



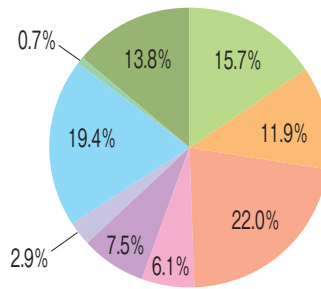
【平成18年からの過去3回との経年比較】

・病気やケガで病院に行く割合は増加傾向。

## 26 病気になったときに困ったことはありますか。

### 平成18(2006)年

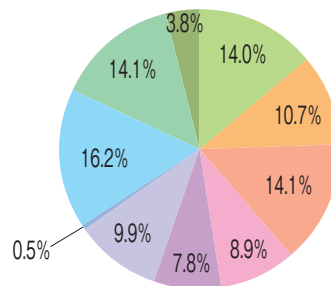
内容	割合
言葉の通じる病院がわからない	15.7%
症状に合う病院がどこにあるのかわからない	11.9%
病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい	22.0%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない	6.1%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない	7.5%
市販薬にある表示がわからない	2.9%
病院で診療を拒否される	0.0%
医療費が高い	19.4%
特に困っていない	0.7%
その他	13.8%
合計	100.0%



- 言葉の通じる病院がわからない
- 症状に合う病院がどこにあるのかわからない
- 病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない
- 市販薬にある表示がわからない
- 病院で診療を拒否される
- 医療費が高い
- 特に困っていない
- その他

### 平成23(2011)年

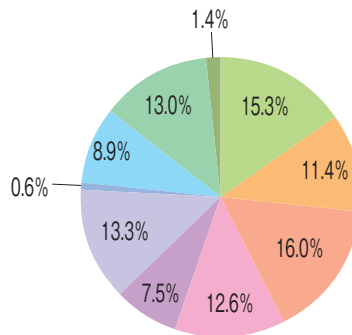
内容	割合
言葉の通じる病院がわからない	14.0%
症状に合う病院がどこにあるのかわからない	10.7%
病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい	14.1%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない	8.9%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない	7.8%
市販薬にある表示がわからない	9.9%
病院で診療を拒否される	0.5%
医療費が高い	16.2%
特に困っていない	14.1%
その他	3.8%
合計	100.0%



- 言葉の通じる病院がわからない
- 症状に合う病院がどこにあるのかわからない
- 病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない
- 市販薬にある表示がわからない
- 病院で診療を拒否される
- 医療費が高い
- 特に困っていない
- その他

### 平成27(2015)年

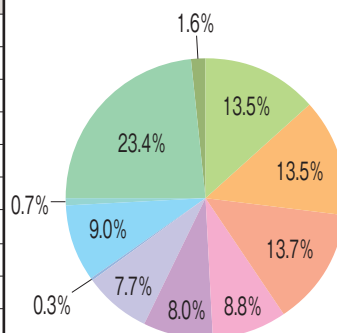
内容	割合
言葉の通じる病院がわからない	15.3%
症状に合う病院がどこにあるのかわからない	11.4%
病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい	16.0%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない	12.6%
病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない	7.5%
市販薬にある表示がわからない	13.3%
病院で診療を拒否される	0.6%
医療費が高い	8.9%
特に困っていない	13.0%
その他	1.4%
合計	100.0%



- 言葉の通じる病院がわからない
- 症状に合う病院がどこにあるのかわからない
- 病院・薬局などの医療機関で意思疎通が図りにくい
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の案内表示がない
- 病院・薬局などの医療機関で日本語以外の書類が少ない
- 市販薬にある表示がわからない
- 病院で診療を拒否される
- 医療費が高い
- 特に困っていない
- その他

### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
言葉の通じる病院がわからない	355	13.5%
どこの病院に行っているのかわからない	356	13.5%
病院・薬局などでコミュニケーションがうまくいかない	361	13.7%
病院・薬局などで日本語以外の案内表示がない	231	8.8%
病院・薬局などで日本語以外の書類が少ない	210	8.0%
市販薬にある表示がわからない	202	7.7%
病院で診療を拒否される	9	0.3%
医療費が高い	238	9.0%
クレジットカードを使える医療機関が少ない	18	0.7%
特に困っていない	616	23.4%
その他	41	1.6%
合計	2,637	100.0%

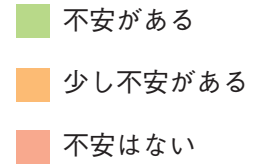
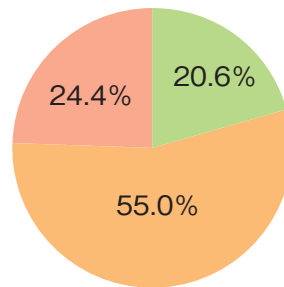


- 言葉の通じる病院がわからない
- どこの病院に行っているのかわからない
- 病院・薬局などでコミュニケーションがうまくいかない
- 病院・薬局などで日本語以外の案内表示がない
- 病院・薬局などで日本語以外の書類が少ない
- 市販薬にある表示がわからない
- 病院で診療を拒否される
- 医療費が高い
- クレジットカードを使える医療機関が少ない
- 特に困っていない
- その他

## 27 災害などの緊急時について教えてください

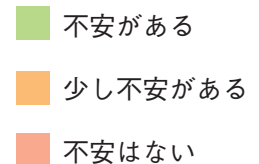
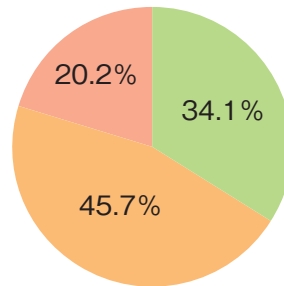
### 平成18(2006)年

内容	割合
不安がある	20.6%
少し不安がある	55.0%
不安はない	24.4%
合 計	100.0%



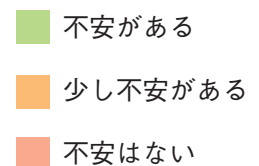
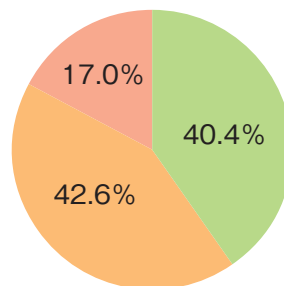
### 平成23(2011)年

内容	割合
不安がある	34.1%
少し不安がある	45.7%
不安はない	20.2%
合 計	100.0%



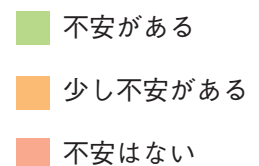
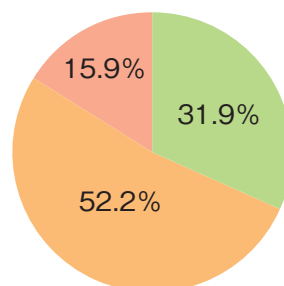
### 平成27(2015)年

内容	割合
不安がある	40.4%
少し不安がある	42.6%
不安はない	17.0%
合 計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
不安がある	498	31.9%
少し不安がある	816	52.2%
不安はない	248	15.9%
合 計	1,562	100.0%



#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

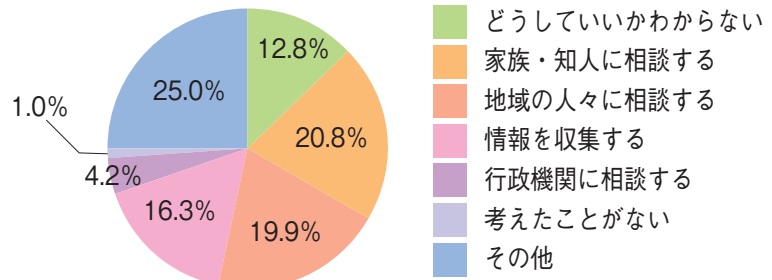
- ・引き続き8割以上の人が災害時の不安を覚えている。



## 28 災害にあったときはどうしますか

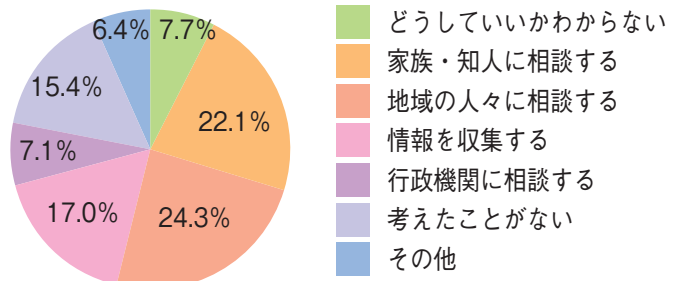
### 平成18(2006)年

内容	割合
どうしていいかわからない	12.8%
家族・知人に相談する	20.8%
地域の人々に相談する	19.9%
情報を収集する	16.3%
行政機関に相談する	4.2%
考えたことがない	1.0%
その他	25.0%
合 計	100.0%



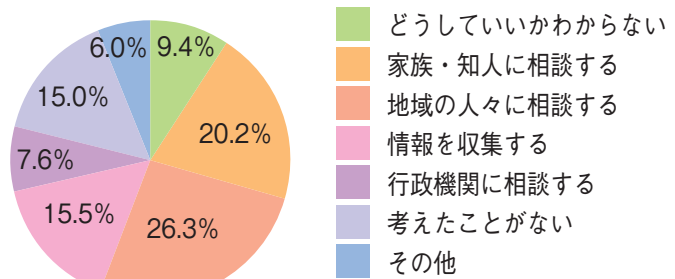
### 平成23(2011)年

内容	割合
どうしていいかわからない	7.7%
家族・知人に相談する	22.1%
地域の人々に相談する	24.3%
情報を収集する	17.0%
行政機関に相談する	7.1%
考えたことがない	15.4%
その他	6.4%
合 計	100.0%



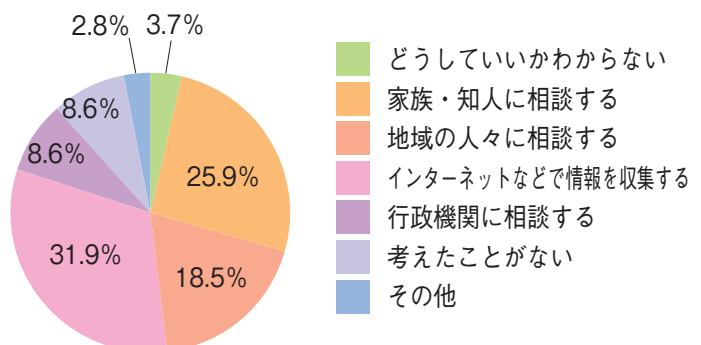
### 平成27(2015)年

内容	割合
どうしていいかわからない	9.4%
家族・知人に相談する	20.2%
地域の人々に相談する	26.3%
情報を収集する	15.5%
行政機関に相談する	7.6%
考えたことがない	15.0%
その他	6.0%
合 計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
どうしていいかわからない	67	3.7%
家族・知人に相談する	474	25.9%
地域の人々に相談する	339	18.5%
インターネットなどで情報を収集する	585	31.9%
行政機関に相談する	158	8.6%
考えたことがない	158	8.6%
その他	52	2.8%
合 計	1,833	100.0%



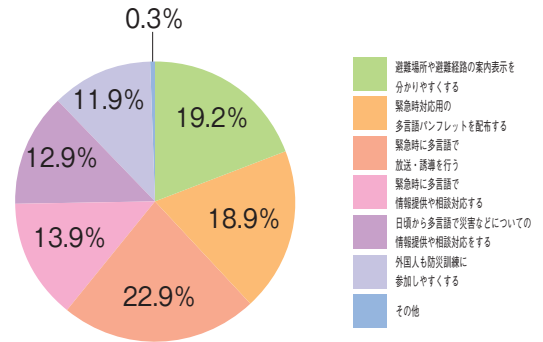
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・災害時にインターネットでの情報収集の割合が倍増。

## 29 災害等の不安をなくすために必要なことはどれですか

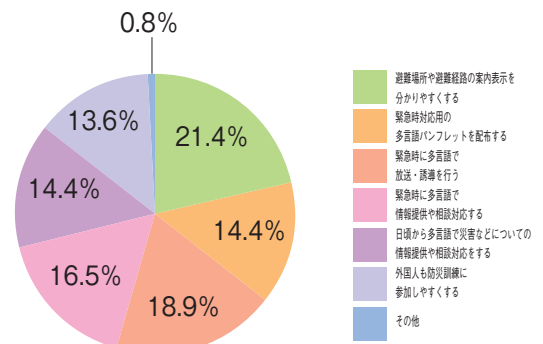
### 平成18(2006)年

内容	割合
避難場所や避難経路の案内表示を分かりやすくする	19.2%
緊急時対応用の多言語パンフレットを配布する	18.9%
緊急時に多言語で放送・誘導を行う	22.9%
緊急時に多言語で情報提供や相談対応する	13.9%
日頃から多言語で災害などについての情報提供や相談対応をする	12.9%
外国人も防災訓練に参加しやすくする	11.9%
その他	0.3%
合計	100.0%



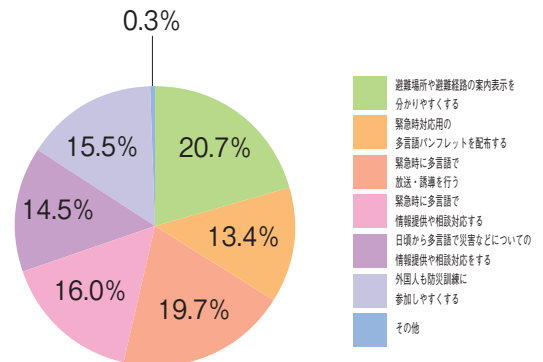
### 平成23(2011)年

内容	割合
避難場所や避難経路の案内表示を分かりやすくする	21.4%
緊急時対応用の多言語パンフレットを配布する	14.4%
緊急時に多言語で放送・誘導を行う	18.9%
緊急時に多言語で情報提供や相談対応する	16.5%
日頃から多言語で災害などについての情報提供や相談対応をする	14.4%
外国人も防災訓練に参加しやすくする	13.6%
その他	0.8%
合計	100.0%



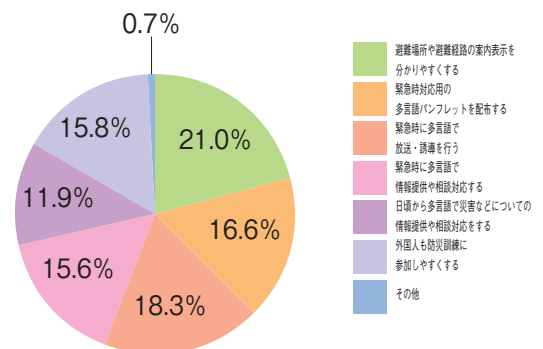
### 平成27(2015)年

内容	割合
避難場所や避難経路の案内表示を分かりやすくする	20.7%
緊急時対応用の多言語パンフレットを配布する	13.4%
緊急時に多言語で放送・誘導を行う	19.7%
緊急時に多言語で情報提供や相談対応する	16.0%
日頃から多言語で災害などについての情報提供や相談対応をする	14.5%
外国人も防災訓練に参加しやすくする	15.5%
その他	0.3%
合計	100.1%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
避難場所や避難経路の案内表示を分かりやすくする	814	21.0%
緊急時対応用の多言語パンフレットを配布する	645	16.6%
緊急時に多言語で放送・誘導を行う	708	18.3%
緊急時に多言語で情報提供や相談対応する	603	15.6%
日頃から多言語で災害などについての情報提供や相談対応をする	463	11.9%
外国人も防災訓練に参加しやすくする	614	15.8%
その他	28	0.7%
合計	3,875	100.0%



#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

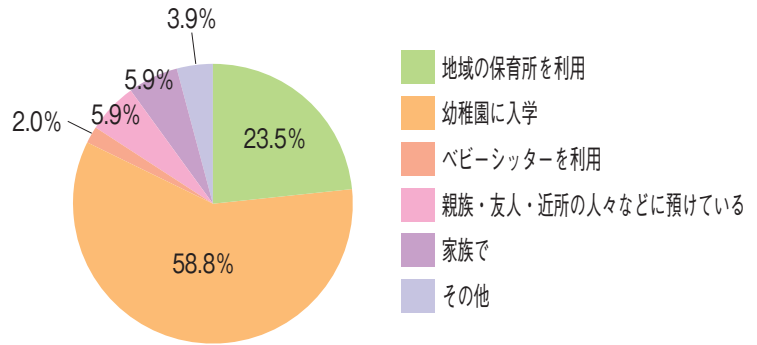
- ・引き続き行政の多言語対応を求めている。
- ・外国人の防災訓練の参加への要望も割合としては増加している。



## 30 小学校入学前の子ども（0歳～6歳）の子育ての方法について教えてください

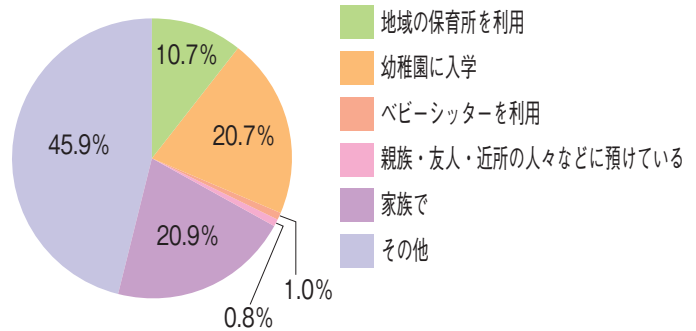
### 平成18(2006)年

内容	割合
地域の保育所を利用	23.5%
幼稚園に入学	58.8%
ベビーシッターを利用	2.0%
親族・友人・近所の人々などに預けている	5.9%
家族で	5.9%
その他	3.9%
合計	100.0%



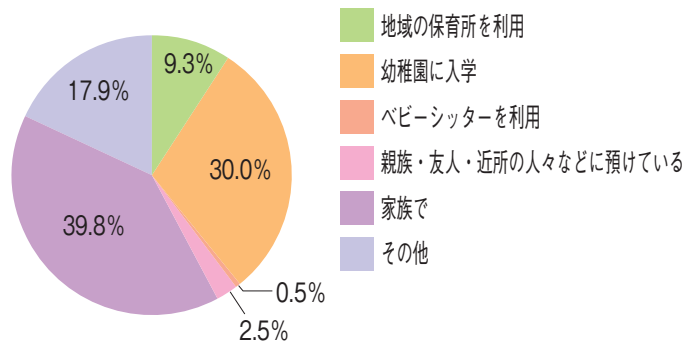
### 平成23(2011)年

内容	割合
地域の保育所を利用	10.7%
幼稚園に入学	20.7%
ベビーシッターを利用	1.0%
親族・友人・近所の人々などに預けている	0.8%
家族で	20.9%
その他	45.9%
合計	100.0%



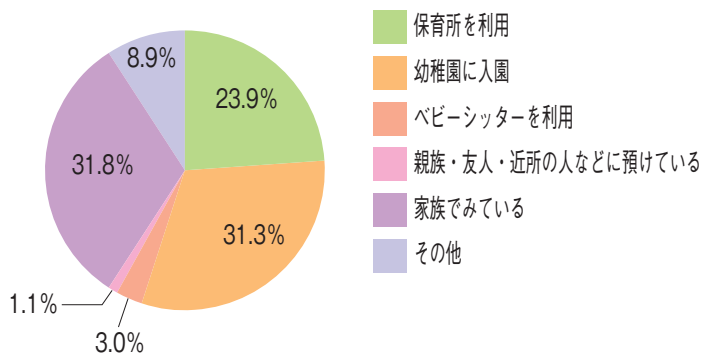
### 平成27(2015)年

内容	割合
地域の保育所を利用	9.3%
幼稚園に入学	30.0%
ベビーシッターを利用	0.5%
親族・友人・近所の人々などに預けている	2.5%
家族で	39.8%
その他	17.9%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
保育所を利用	126	23.9%
幼稚園に入園	165	31.3%
ベビーシッターを利用	16	3.0%
親族・友人・近所の人などに預けている	6	1.1%
家族でみている	168	31.8%
その他	47	8.9%
合計	528	100.0%



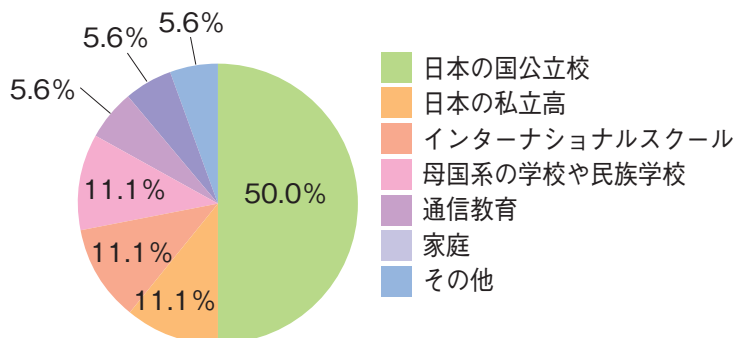
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・保育所の利用者の割合が増加傾向。

### 31 小学生・中学生の子ども（6歳～15歳）に教育を受けさせている場所はどこですか

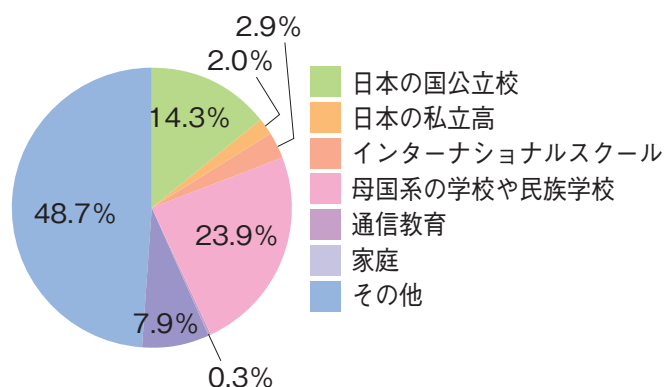
平成18(2006)年

内容	割合
日本の国公立校	50.0%
日本の私立高	11.1%
インターナショナルスクール	11.1%
母国系の学校や民族学校	11.1%
通信教育	5.6%
家庭	5.6%
その他	5.5%
合計	100.0%



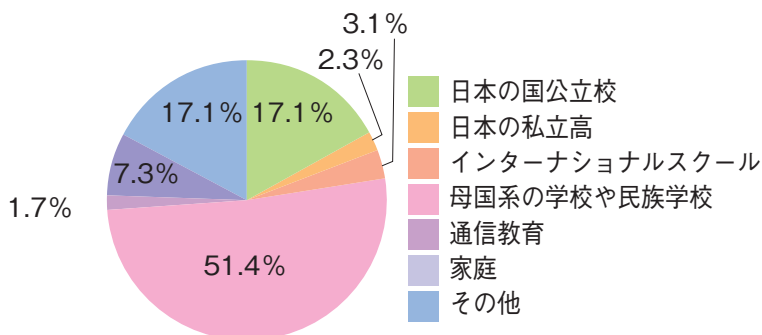
平成23(2011)年

内容	割合
日本の国公立校	14.3%
日本の私立高	2.0%
インターナショナルスクール	2.9%
母国系の学校や民族学校	23.9%
通信教育	0.3%
家庭	7.9%
その他	48.7%
合計	100.0%



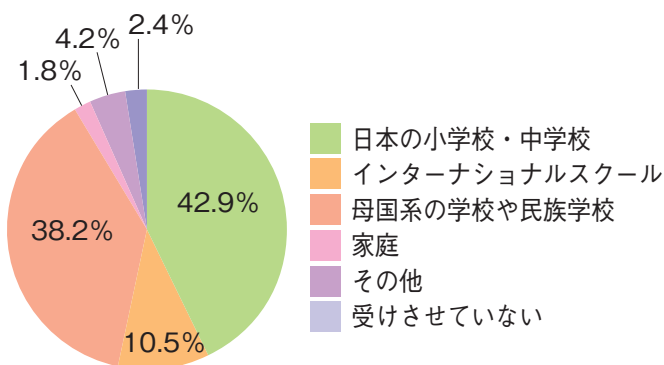
平成27(2015)年

内容	割合
日本の国公立校	17.1%
日本の私立高	2.3%
インターナショナルスクール	3.1%
母国系の学校や民族学校	51.4%
通信教育	1.7%
家庭	7.3%
その他	17.1%
合計	100.0%



令和元(2019)年

内容	人数	割合
日本の小学校・中学校	164	42.9%
インターナショナルスクール	40	10.5%
母国系の学校や民族学校	146	38.2%
家庭	7	1.8%
その他	16	4.2%
受けさせていない	9	2.4%
合計	382	100.0%



【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・日本の公立小中学校で教育を受けさせる割合が前回と比べ倍増している。
- ・母国系の学校の割合も4割以上を占めている。

## 32 教育について要望はありますか。

### 平成18(2006)年

内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の授業時間が十分でない。</li> <li>将来、外国人の子供に対して、差別がないようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試に合格するためだけではなく、もっと実践的な授業をしてほしい。</li> <li>歴史を正視して、平和・発展を提唱してほしい。</li> </ul>

### 平成23(2011)年

内容	
<p>1. 制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人にとって国際的な基準を持つ英語メディア機関</li> <li>学校における自由時間の付与。長時間の部活動の廃止。</li> <li>教育の質、レベルの全面的な向上（国際的にも先進的な）。</li> <li>教育の面における正しい知識と情報。</li> <li>公平・レベルの高い教育。</li> <li>授業時間の延長、宿題の増加、早朝の英語教育。</li> <li>総合教育の全面的な発展。</li> <li>第二外国語としての英語の使用。</li> <li>使用言語の多様化。</li> <li>日本語の専門学校、クラス（できれば学費無料）設置とコミュニケーション機会の増加</li> <li>日本語教師のレベルの向上</li> </ul>	<p>2. 教育者への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの黙殺の防止。</li> <li>学生の英語力の向上</li> <li>学生が柔軟な思考力を身につけ、主体的に行動できる様な指導。</li> <li>子供の世話。</li> <li>安全教育の強調。</li> <li>教育者の留学生における事情の理解（留学生のことを嫌っている教師が存在する）</li> <li>外国人の子供（中国人）に対する差別撤廃。</li> </ul> <p>3. 学費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校までの学費無償化。経済的に余裕のない家庭の子供への奨学金制度。</li> </ul>
	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国文化の理解</li> <li>健康。日中両国の言語理解。子供らしい教育。</li> <li>交流機会の増加</li> <li>楽しく学習。</li> <li>子供に学ばせたいと考えているが、どこで情報を得たらいいかわからない。</li> <li>有名な大学に入り、将来国に貢献できる人材になってほしい。</li> <li>自由に成長してほしい。</li> <li>仁義礼智</li> <li>正しい世界観を持ち、国難の逆境にも負わずに成長してほしい。</li> <li>大学入学。</li> <li>日本語が理解できず、授業の内容がわからない。</li> <li>日本の教育制度がわからない。</li> </ul>

### 平成27(2015)年

内容	
<p>1. 制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容が理解できない授業に参加する機会を増やしてほしい。</li> <li>すべての人が高等教育を受ける。</li> <li>教育に関する情報をわかりやすくして、教育制度のガイダンスをお願いしたい。</li> <li>日本語クラスをより多くの場所で開催してほしい。</li> <li>無料日本語レッスン。</li> <li>日本語能力の向上のため、休日に日本語学校で学びたい。</li> <li>英語の話せる人があらゆるレベルの学校で配置されるべきである。</li> <li>保育園、地域の幼稚園等で英語の教材が増えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少ない外国人に差別のないように。</li> <li>両国の言葉で、両国の相互交流を望む。</li> <li>良好な教育環境</li> </ul> <p>2. 教育者への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師は家長とコミュニケーションをするようにし、双方が子供の学習と生活習慣について更に理解する。</li> <li>子供の成長に役立つ活動に参加することを希望する。</li> <li>多くの言葉を学べるように望む。</li> <li>日本語をさらに学習すること。</li> <li>学校から翻訳された文書をいただきたい。</li> <li>英語で正しい発音ができるような教育を要望する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園の教師が英語ができることを希望する。</li> <li>英語教育。</li> <li>外国人に日本でホームステイの機会を与えてもらいたい。</li> <li>進学指導が少ない。多いほうがいい。</li> <li>精神的な問題対策として、生徒と教師の定期的なローテーションを考えてほしい。</li> </ul> <p>3. 学費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係がない費用を免除してほしい（〇〇会費など）。</li> </ul>

### 令和元(2019)年

内容	
<p>1. 制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校に中国語コースを増やす。</li> <li>中国語学校は、中国語で教える。</li> <li>中国語と日本語のバイリンガル学習。</li> <li>幼稚園で外国人が教える。</li> <li>外国人のための日本語教室。</li> <li>インターネット経由で英語版の教育に関する情報を見つげられる。</li> <li>留学生の為の優遇政策。</li> <li>低学年から国際交流の機会を増やして欲しい。</li> </ul> <p>2. 教育者への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生が、きちんとした学校の責任者であって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちに野外活動の時間を与える。</li> <li>いじめをなくす。</li> <li>オープンプラス。</li> <li>学校からの情報を理解できるように父兄に話す。</li> <li>より多くのコミュニケーションを取る。</li> <li>良い行動と習慣を身につける。</li> <li>先生が差別をしない。</li> </ul> <p>3. 学費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の費用が高いので、他の先進国のように無償化して欲しい。</li> <li>外国の子供の費用を免除</li> </ul>
	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校での髪型について、とても厳しい。</li> <li>公平で包括的な教育。</li> <li>楽しい気持ちで学ぶ。</li> <li>一生懸命勉強する。</li> <li>外国人が日本の学校に入る前に、基本的な日本語の授業を受けさせるなど、大きなショックを受けないようなプログラムが欲しい。</li> <li>日本の文化を学習したい。</li> </ul>

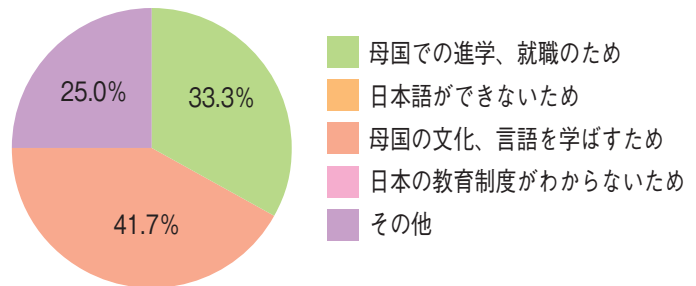
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- 引き続き学費や日本語学習についての要望が多かった。
- 他方母国語の教育や国際交流についての要望も出て来ている。
- いじめを心配する声も多く上がった。

### 33 日本の学校へ行かせない理由

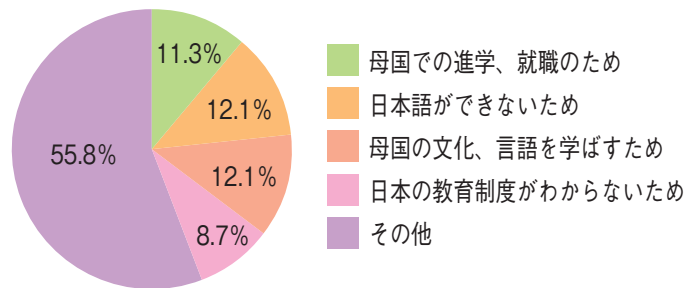
#### 平成18(2006)年

内容	割合
母国での進学、就職のため	33.3%
日本語ができないため	0.0%
母国の文化、言語を学ばすため	41.7%
日本の教育制度がわからないため	0.0%
その他	25.0%
合計	100.0%



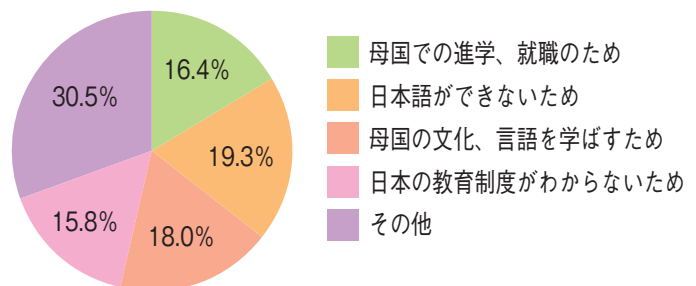
#### 平成23(2011)年

内容	割合
母国での進学、就職のため	11.3%
日本語ができないため	12.1%
母国の文化、言語を学ばすため	12.1%
日本の教育制度がわからないため	8.7%
その他	55.8%
合計	100.0%



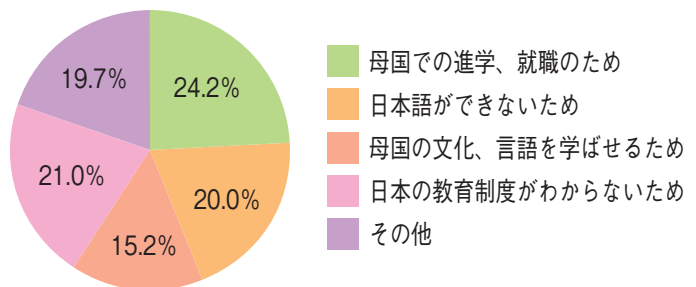
#### 平成27(2015)年

内容	割合
母国での進学、就職のため	16.4%
日本語ができないため	19.3%
母国の文化、言語を学ばすため	18.0%
日本の教育制度がわからないため	15.8%
その他	30.5%
合計	100.0%



#### 令和元(2019)年

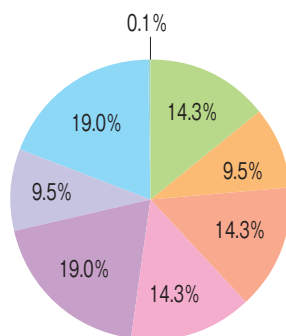
内容	人数	割合
母国での進学、就職のため	75	24.2%
日本語ができないため	62	20.0%
母国の文化、言語を学ばせるため	47	15.2%
日本の教育制度がわからないため	65	21.0%
その他	61	19.7%
合計	310	100.0%



## 34 子どもの教育について悩みはありますか

### 平成18(2006)年

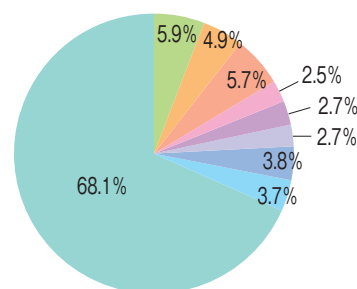
内容	割合
日本語ができない	14.3%
授業の内容が理解できない	9.5%
教育費が高い	14.3%
子どもがいじめられる	14.3%
子どもに友人がない	19.0%
子どもの友達の親と仲良くなれない	9.5%
母国語・母国の文化を教えられない	0.0%
進学についての不安	19.0%
その他	0.1%
合計	100.0%



- 日本語ができない
- 授業の内容が理解できない
- 教育費が高い
- 子どもがいじめられる
- 子どもに友人がない
- 子どもの友達の親と仲良くなれない
- 母国語・母国の文化を教えられない
- 進学についての不安
- その他

### 平成23(2011)年

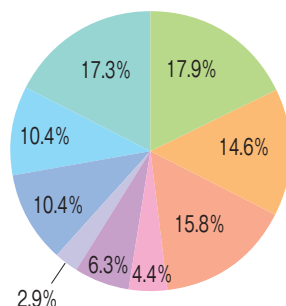
内容	割合
日本語ができない	5.9%
授業の内容が理解できない	4.9%
教育費が高い	5.7%
子どもがいじめられる	2.5%
子どもに友人がない	2.7%
子どもの友達の親と仲良くなれない	2.7%
母国語・母国の文化を教えられない	3.8%
進学についての不安	3.7%
その他	68.1%
合計	100.0%



- 日本語ができない
- 授業の内容が理解できない
- 教育費が高い
- 子どもがいじめられる
- 子どもに友人がない
- 子どもの友達の親と仲良くなれない
- 母国語・母国の文化を教えられない
- 進学についての不安
- その他

### 平成27(2015)年

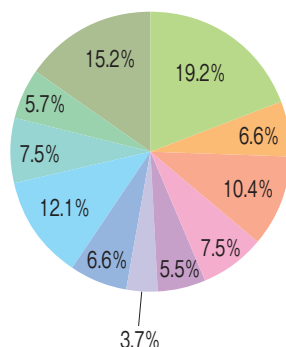
内容	割合
日本語ができない	17.9%
授業の内容が理解できない	14.6%
教育費が高い	15.8%
子どもがいじめられる	4.4%
子どもに友人がない	6.3%
子どもの友達の親と仲良くなれない	2.9%
母国語・母国の文化を教えられない	10.4%
進学についての不安	10.4%
その他	17.3%
合計	100.0%



- 日本語ができない
- 授業の内容が理解できない
- 教育費が高い
- 子どもがいじめられる
- 子どもに友人がない
- 子どもの友達の親と仲良くなれない
- 母国語・母国の文化を教えられない
- 進学についての不安
- その他

### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
日本語ができない	105	19.2%
授業の内容が理解できない	36	6.6%
教育費が高い	57	10.4%
子どもがいじめられる	41	7.5%
子どもに友人がない	30	5.5%
子どもの友達の親と仲良くなれない	20	3.7%
母国語・母国の文化を教えられない	36	6.6%
日本の教育制度や学校の規則等がよくわからない	66	12.1%
進学に関する情報が不足している	41	7.5%
その他	31	5.7%
特にな	83	15.2%
合計	546	100.0%



- 日本語ができない
- 授業の内容が理解できない
- 教育費が高い
- 子どもがいじめられる
- 子どもに友人がない
- 子どもの友達の親と仲良くなれない
- 母国語・母国の文化を教えられない
- 日本の教育制度や学校の規則等がよくわからない
- 進学に関する情報が不足している
- その他
- 特にな

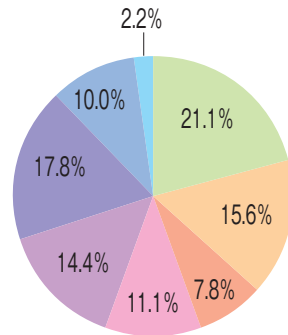
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・ 前々回より「日本語ができない」の割合が増加傾向。
- ・ 「いじめられる」割合も増加傾向。

## 35 日本での子育てのために必要だと思う情報はどれですか

### 平成18(2006)年

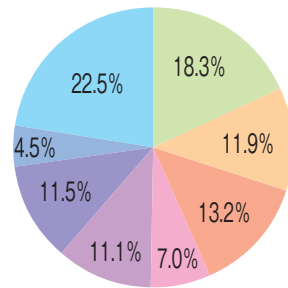
内容	割合
子育てで不安なことを相談する人・ところ	21.1%
子育て中の親同士の交流機会	15.6%
仕事に子どもを預けられるところ	7.8%
保育所の入所手続き	11.1%
母国語の通じる小児科	14.4%
予防接種や健康診断の情報	17.8%
近くで育児・子ども用品を売っているところ	10.0%
その他	2.2%
合計	100.0%



- 子育てで不安なことを相談する人・ところ
- 子育て中の親同士の交流機会
- 仕事に子どもを預けられるところ
- 保育所の入所手続き
- 母国語の通じる小児科
- 予防接種や健康診断の情報
- 近くで育児・子ども用品を売っているところ
- その他

### 平成23(2011)年

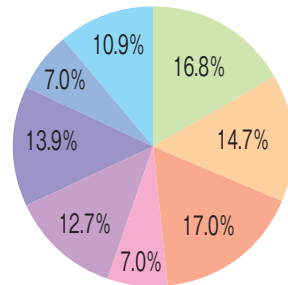
内容	割合
子育てで不安なことを相談する人・ところ	18.3%
子育て中の親同士の交流機会	11.9%
仕事に子どもを預けられるところ	13.2%
保育所の入所手続き	7.0%
母国語の通じる小児科	11.1%
予防接種や健康診断の情報	11.5%
近くで育児・子ども用品を売っているところ	4.5%
その他	22.5%
合計	100.0%



- 子育てで不安なことを相談する人・ところ
- 子育て中の親同士の交流機会
- 仕事に子どもを預けられるところ
- 保育所の入所手続き
- 母国語の通じる小児科
- 予防接種や健康診断の情報
- 近くで育児・子ども用品を売っているところ
- その他

### 平成23(2011)年

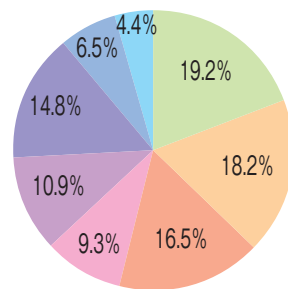
内容	割合
子育てで不安なことを相談する人・ところ	16.8%
子育て中の親同士の交流機会	14.7%
仕事に子どもを預けられるところ	17.0%
保育所の入所手続き	7.0%
母国語の通じる小児科	12.7%
予防接種や健康診断の情報	13.9%
近くで育児・子ども用品を売っているところ	7.0%
その他	10.9%
合計	100.0%



- 子育てで不安なことを相談する人・ところ
- 子育て中の親同士の交流機会
- 仕事に子どもを預けられるところ
- 保育所の入所手続き
- 母国語の通じる小児科
- 予防接種や健康診断の情報
- 近くで育児・子ども用品を売っているところ
- その他

### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
子育てで不安なことを相談する人・ところ	169	19.2%
子育て中の親同士の交流機会	160	18.2%
仕事に子どもを預けられるところ	145	16.5%
保育所の入所手続き	82	9.3%
母国語の通じる病院	96	10.9%
予防接種や健康診断の情報	130	14.8%
近くで育児・子ども用品を売っているところ	57	6.5%
その他	39	4.4%
合計	878	100.0%



- 子育てで不安なことを相談する人・ところ
- 子育て中の親同士の交流機会
- 仕事に子どもを預けられるところ
- 保育所の入所手続き
- 母国語の通じる病院
- 予防接種や健康診断の情報
- 近くで育児・子ども用品を売っているところ
- その他

#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

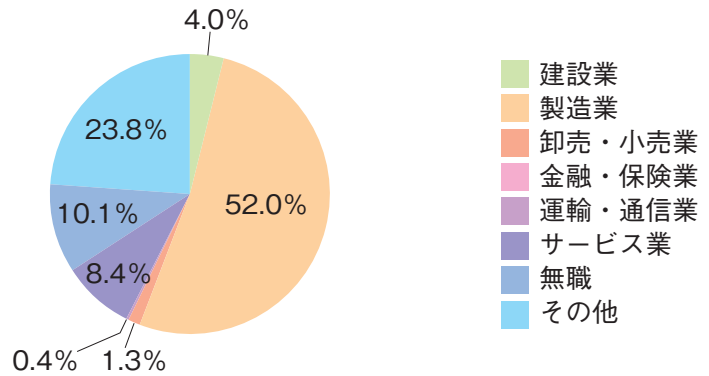
・引き続き相談場所や親同士の交流機会を求めている。



## 36 現在の職業（アルバイトや研修・実習を含む）について教えてください

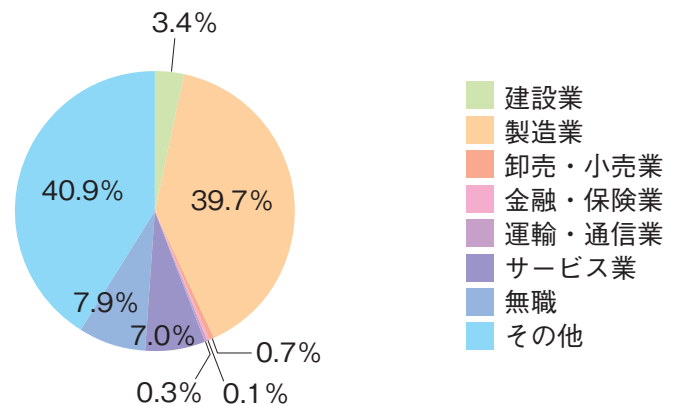
平成18(2006)年

内容	割合
建設業	4.0%
製造業	52.0%
卸売・小売業	1.3%
金融・保険業	0.0%
運輸・通信業	0.4%
サービス業	8.4%
無職	10.1%
その他	23.8%
合計	100.0%



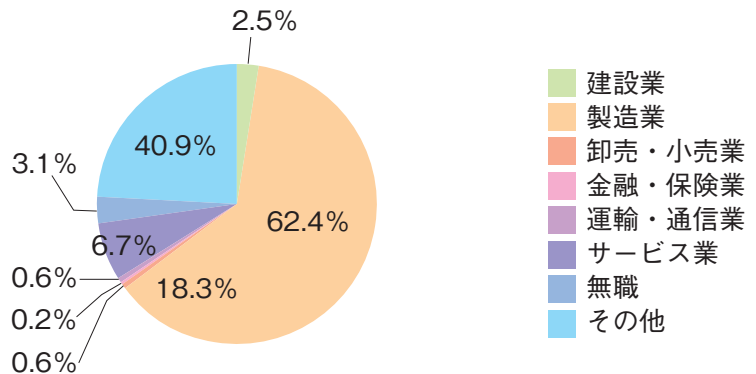
平成23(2011)年

内容	割合
建設業	3.4%
製造業	39.7%
卸売・小売業	0.7%
金融・保険業	0.1%
運輸・通信業	0.3%
サービス業	7.0%
無職	7.9%
その他	40.9%
合計	100.0%



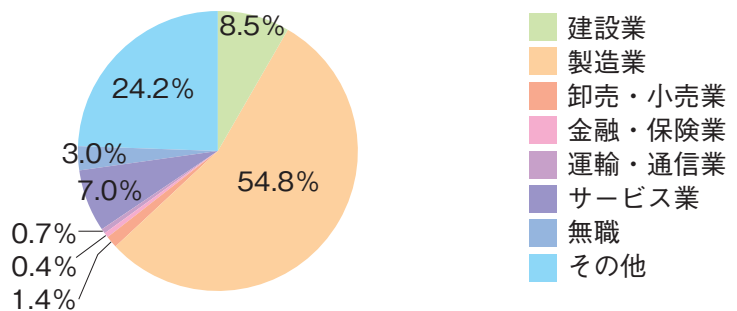
平成27(2015)年

内容	割合
建設業	2.5%
製造業	62.4%
卸売・小売業	0.6%
金融・保険業	0.2%
運輸・通信業	0.6%
サービス業	6.7%
無職	3.1%
その他	23.9%
合計	100.0%



令和元(2019)年

内容	人数	割合
建設業	119	8.5%
製造業	765	54.8%
卸売・小売業	19	1.4%
金融・保険業	5	0.4%
運輸・通信業	10	0.7%
サービス業	98	7.0%
無職	42	3.0%
その他	338	24.2%
合計	1,396	100.0%



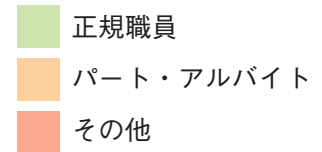
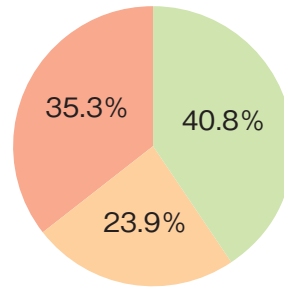
【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・製造業の割合が減少したものの、半数以上を占めている。
- ・建設業の割合は少ないながらも増加している。

## 37 職場での雇用形態はどれですか

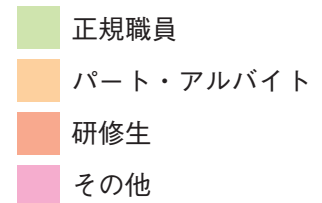
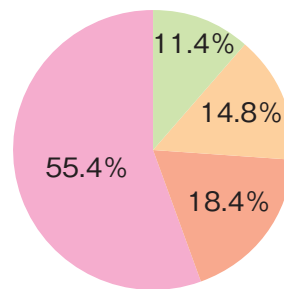
平成18(2006)年

内容	割合
正規職員	40.8%
パート・アルバイト	23.9%
その他	35.3%
合計	100.0%



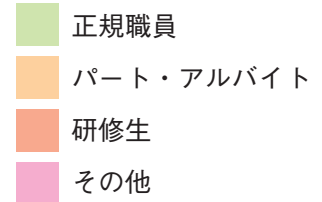
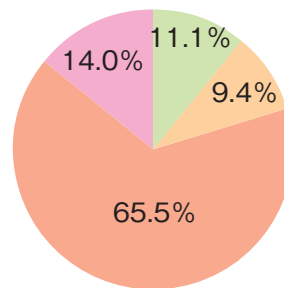
平成23(2011)年

内容	割合
正規職員	11.4%
パート・アルバイト	14.8%
研修生	18.4%
その他	55.4%
合計	100.0%



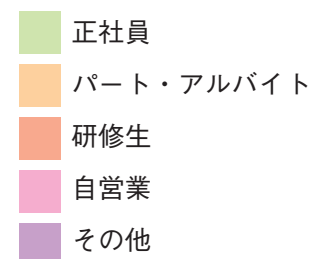
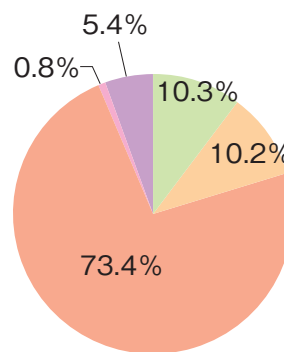
平成27(2015)年

内容	割合
正規職員	11.1%
パート・アルバイト	9.4%
研修生	65.5%
その他	14.0%
合計	100.0%



令和元(2019)年

内容	人数	割合
正社員	143	10.3%
パート・アルバイト	141	10.2%
研修生	1019	73.4%
自営業	11	0.8%
その他	75	5.4%
合計	1,389	100.0%



【平成18年からの過去3回との経年比較】

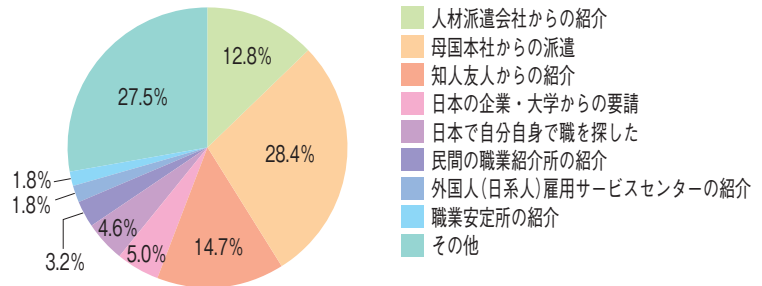
- ・ 前回に続き研修生の割合が多数を占め、さらに増加して7割以上となった。
- ・ 正規職員の割合は1割程度で減少傾向。



## 38 現在の職に就いたきっかけはどれですか

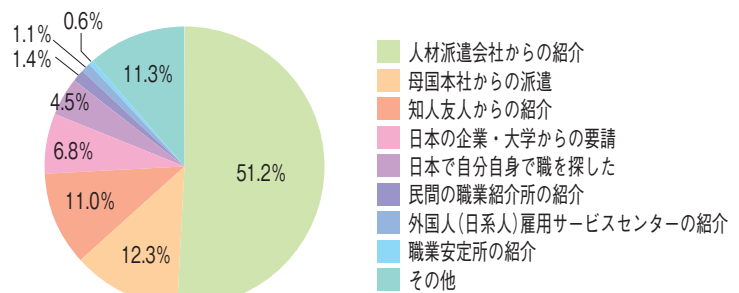
### 平成18(2006)年

内容	人数	割合
人材派遣会社からの紹介	28	12.8%
母国本社からの派遣	62	28.4%
知人友人からの紹介	32	14.7%
日本の企業・大学からの要請	11	5.0%
日本で自分自身で職を探した	10	4.6%
民間の職業紹介所の紹介	7	3.2%
外国人(日系人)雇用サービスセンターの紹介	4	1.8%
職業安定所の紹介	4	1.8%
その他	60	27.5%
合計	218	100.0%



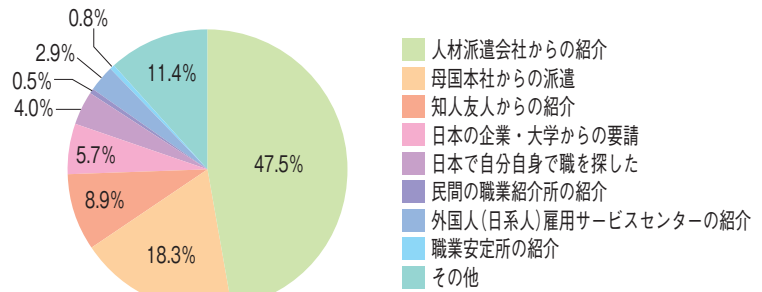
### 平成23(2011)年

内容	人数	割合
人材派遣会社からの紹介	341	51.2%
母国本社からの派遣	82	12.3%
知人友人からの紹介	73	11.0%
日本の企業・大学からの要請	45	6.8%
日本で自分自身で職を探した	30	4.5%
民間の職業紹介所の紹介	9	1.4%
外国人(日系人)雇用サービスセンターの紹介	7	1.1%
職業安定所の紹介	4	0.6%
その他	75	11.3%
合計	666	100.0%



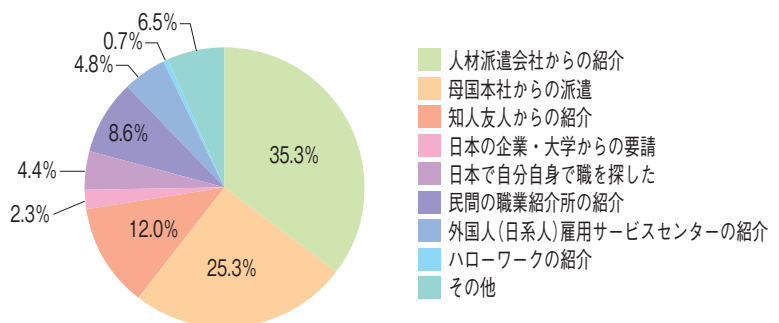
### 平成27(2015)年

内容	人数	割合
人材派遣会社からの紹介	535	47.5%
母国本社からの派遣	206	18.3%
知人友人からの紹介	100	8.9%
日本の企業・大学からの要請	64	5.7%
日本で自分自身で職を探した	45	4.0%
民間の職業紹介所の紹介	6	0.5%
外国人(日系人)雇用サービスセンターの紹介	33	2.9%
職業安定所の紹介	9	0.8%
その他	129	11.4%
合計	1127	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
人材派遣会社からの紹介	486	35.3%
母国本社からの派遣	348	25.3%
知人友人からの紹介	166	12.0%
日本の企業・大学からの要請	32	2.3%
日本で自分自身で職を探した	61	4.4%
民間の職業紹介所の紹介	119	8.6%
外国人(日系人)雇用サービスセンターの紹介	66	4.8%
ハローワークの紹介	10	0.7%
その他	90	6.5%
合計	1,378	100.0%



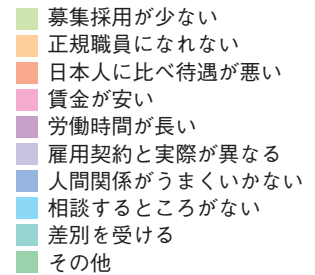
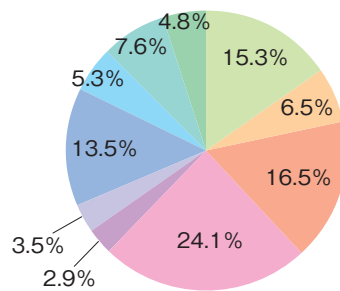
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・前回より微減だが、人材派遣会社・母国からの派遣を含めると6割以上を占める。
- ・他方知人や民間の紹介の割合も増加している。

## 39 日本で仕事をする上での不満はありますか

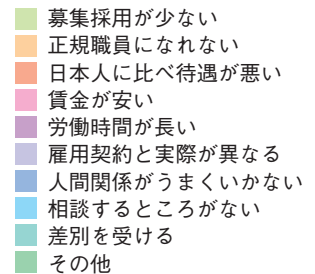
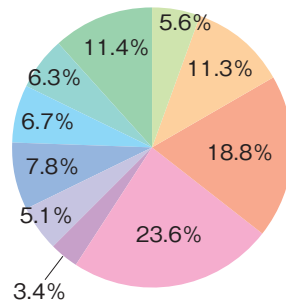
### 平成18(2006)年

内容	割合
募集採用が少ない	15.3%
正規職員になれない	6.5%
日本人に比べ待遇が悪い	16.5%
賃金が安い	24.1%
労働時間が長い	2.9%
雇用契約と実際が異なる	3.5%
人間関係がうまくいかない	13.5%
相談するところがない	5.3%
差別を受ける	7.6%
その他	4.8%
合計	100.0%



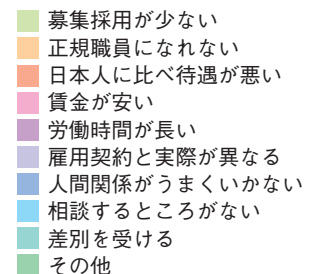
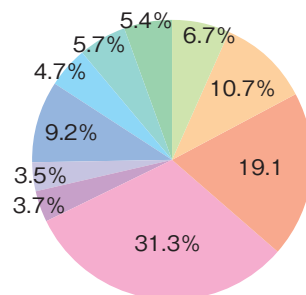
### 平成23(2011)年

内容	割合
募集採用が少ない	5.6%
正規職員になれない	11.3%
日本人に比べ待遇が悪い	18.8%
賃金が安い	23.6%
労働時間が長い	3.4%
雇用契約と実際が異なる	5.1%
人間関係がうまくいかない	7.8%
相談するところがない	6.7%
差別を受ける	6.3%
その他	11.4%
合計	100.0%



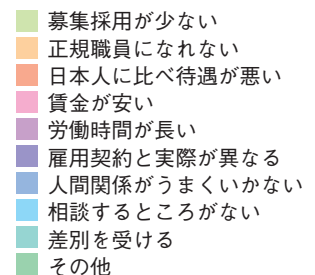
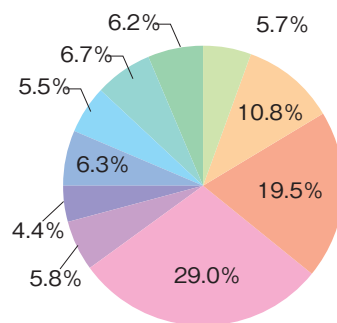
### 平成27(2015)年

内容	割合
募集採用が少ない	6.7%
正規職員になれない	10.7%
日本人に比べ待遇が悪い	19.1%
賃金が安い	31.3%
労働時間が長い	3.7%
雇用契約と実際が異なる	3.5%
人間関係がうまくいかない	9.2%
相談するところがない	4.7%
差別を受ける	5.7%
その他	5.4%
合計	100.0%



### 令和元(2019)年

内容	人数	割合
募集採用が少ない	115	5.7%
正規職員になれない	219	10.8%
日本人に比べ待遇が悪い	394	19.5%
賃金が安い	585	29.0%
労働時間が長い	117	5.8%
雇用契約と実際が異なる	89	4.4%
人間関係がうまくいかない	127	6.3%
相談するところがない	111	5.5%
差別を受ける	136	6.7%
その他	126	6.2%
合計	2,019	100.0%



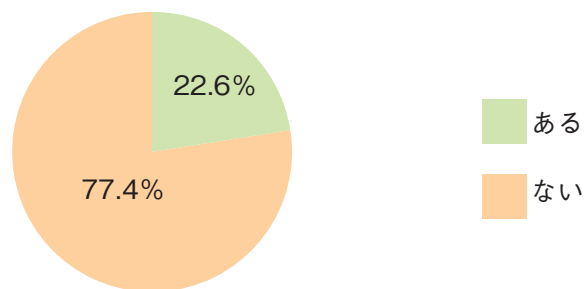
#### 【平成18年からの過去3回との経年比較】

・前回より微減だが、変わらず「賃金が安い」の割合がトップとなっている。

## 40 日本人でないことにより扱いが違うと感じることはありますか

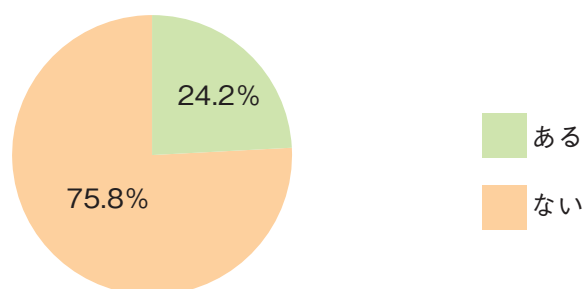
平成18(2006)年

内容	割合
ある	22.6%
ない	77.4%
合 計	100.0%



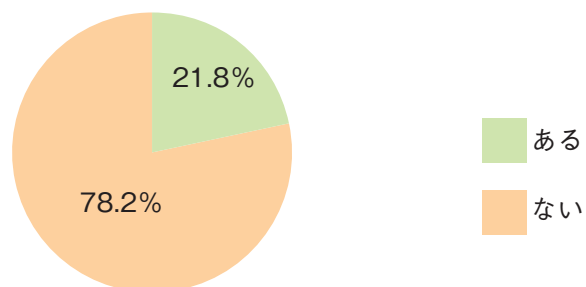
平成23(2011)年

内容	割合
ある	24.2%
ない	75.8%
合 計	100.0%



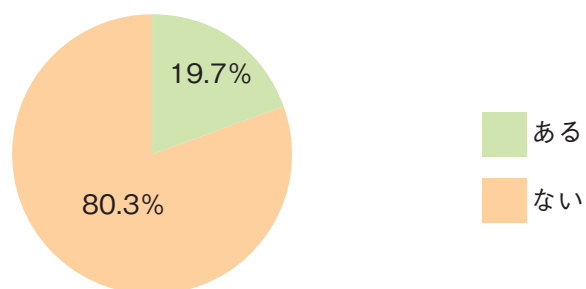
平成27(2015)年

内容	割合
ある	21.8%
ない	78.2%
合 計	100.0%



令和元(2019)年

内容	人数	割合
ある	282	19.7%
ない	1,148	80.3%
合 計	1,430	100.0%



【平成18年からの過去3回との経年比較】

- ・前回より微減だが、変わらず2割程度が扱いが違うと感じている。

## 41 「ある」の場合のその状況を教えてください。

平成18(2006)年

内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店の店員に無視されたり、変な目で見られる。</li> <li>・飲食店にいる客からいやなことを言われる。</li> <li>・有給休暇を取る時、すぐに許可をもらえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社で安価な商品は日本語で書かれているが、自分を買おうとすると高い方を薦めてくる。</li> <li>・仕事で。</li> <li>・話をしているとき。</li> <li>・外国人だから、「これをしなければいけない」「それはできない」などとよく言われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーに乗車拒否された。</li> <li>・旅行をしているとき。</li> <li>・入国管理局での手続きや審査が厳しい。</li> </ul>

平成23(2011)年

内容		
<p>1. 待遇 (仕事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国人が日本人よりも効率よく仕事しても認められない。</li> <li>・ミスが発生する必ず中国人を責める、日本人のミスは黙殺される。</li> <li>・意見が食い違くと「ここは日本だ、中国じゃない」と言う。</li> <li>・中国人と日本人は就業時間が同じでも給料が違う、中国人にはボーナスが出ない。</li> <li>・長期雇用の仕事がない。</li> <li>・日本人と外国人では残業時給が違う。外国人には有給がない。</li> <li>・採用募集が外国人（特に中国人）に対して公正ではない（日本語が理解できないと思われているため）。</li> <li>・外国人差別がある（店員が中国人とわかると客が横柄な態度をとる、暴言を吐く）。</li> <li>・外国人というだけで日本人よりも面倒で難しい仕事をさせられる。</li> <li>・会社のイベントに参加できない。</li> <li>・体調不良で休もうとすると減給や解雇をちらつかせて脅してくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人に比べ外国人の仕事内容の方がより難しい。</li> <li>・会社の福利厚生制度を利用しづらい。上司に訴えてやっと利用できた。</li> <li>・職場の人たちととてもよい関係にある。文化の違いに戸惑わない様配慮してくれる。</li> </ul> <p>2. 日本人の態度 (仕事以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国人は言語学ができないと思っている。相手が言ったことを理解しない。</li> <li>・外国人差別がある。（悪口を言う、変な目で見ると、よそよそしい、特に高齢者からよく受ける、賃貸契約できない、高額商品を買わせようとする、日本語が理解できないことを笑う。）</li> <li>・あまり声をかけてくれない。</li> <li>・自分が「よそのもの」という感じを受ける。</li> <li>・異文化に対する理解の欠如。</li> <li>・形だけで中身の伴わない国際交流。</li> <li>・授業時に先生が自分に関心を持ってくれない。</li> <li>・日本人は忙しい時に外国人に礼儀正しく話さない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人は大変よくしてくれるので、興味深く気分が良い。大変親切。</li> <li>・人情が薄い、忍耐がない。</li> <li>・悪いことはない。人々は私に無料のスタッフをつけてくれたりたくさん助けてくれる。また私が変なことをしていたら正しいことを教えてくれる。</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国人がとても貧しいと思っているようだが、中国は貧乏ではない。</li> <li>・日本人の中国に対する印象はまだ昔のままのようだが、今後はお互いを尊重して穏やかな社会を作りたい。</li> <li>・日本と中国では給与額も生活環境も全く異なる。</li> <li>・日本の雇用者は学校まで車で行ってよいが（雇用契約にはないのに）、私は行ってはいけない。</li> <li>・診察の順番において日本人を優先する。</li> <li>・行政による経済的な援助（配偶者が要介護）。</li> </ul>

平成27(2015)年

内容		
<p>1. 待遇 (仕事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事するとき、日本人おこられない、なのに外国人おこられる。</li> <li>・熱心に仕事を紹介してもらえない。</li> <li>・給料少ない。賃金が安い。</li> <li>・アルバイトの面接時、「外国人だから採用しませんとか、従来外国人を採用したことはありません」とか言われた</li> <li>・バイト先で客から名札注目される</li> <li>・バイトの時、私の発音をまねしている</li> <li>・仕事上、機会の不均等を受けたことがある</li> <li>・休みの時間がない（仕事の時）</li> <li>・仕事時には私たちの態度は良くない、時には私たちは怒って、私たちが理解できない。</li> <li>・作業中、重い、疲れる仕事は我々がやる。</li> <li>・外国人なので信頼されていない、給料も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低く、大切なことがあれば日本人にまかせる。</li> <li>・公務員になるのに制限がある</li> <li>・職場でいじめられる。</li> <li>・サービス残業がある。</li> <li>・ボーナスがない</li> <li>・同じ状況で、しんどい仕事に配属される</li> </ul> <p>2. 日本人の態度 (仕事以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな冷たくて、疎外の態度がある。</li> <li>・外国人に厳しい</li> <li>・言葉が通じなく説明しにくい</li> <li>・雨の時、日本人は傘をさしながら自転車に乗ることは大丈夫、外国人に対して処罰がある。</li> <li>・買い物するとき、たまにあるが、スーパーの接客で挨拶されない。</li> <li>・お店で店員に見張られる</li> <li>・交流会で1人の日本人おじいさんから話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しかける「英語しゃべれる？」私は「はい、少しだけ」「[どこ]私「中国です」「中国嫌い」と言われて大変失礼だと思う</li> <li>・一戸建てを借りるとき、外国人だから貸してくれないところある</li> <li>・警察にひどいチェックされる。</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車を購入時に分割購入が不可能。</li> <li>・住宅（保証人）。</li> <li>・地方参政権がない</li> <li>・ヘイトスピーチ</li> <li>・母国の文化や言語を学べる機会がない</li> <li>・朝鮮学校に対する援助がほとんどない</li> <li>・差別を受ける</li> <li>・不動産で何度も断られた</li> <li>・保険加入時に保証人が必須。</li> </ul>

内容		
<p>1. 待遇 (仕事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚より信頼が低い。</li> <li>・コミュニケーションが取れない。(距離を置かれる。)</li> <li>・企業パンフレットに参加させてくれない。</li> <li>・仕事がない。</li> <li>・騒がしくても日本人だけ叱られない。</li> <li>・日本人の休みの日に働かされる。</li> <li>・重労働。(仕事の量)・過小評価。関連する幾つかの仕事や課題を信頼して任せてもらえない。</li> <li>・あまりにも厳しい。位は低い。会社の制度は研修生向け。</li> <li>・会社では、上司の態度で全てが変わる。</li> <li>・職場で期待されていない感じ。</li> <li>・仕事もせずブラブラしている人がいる。</li> <li>・ヒジャブをつけて仕事が出来ない。</li> <li>・低賃金、ボーナスなしの重労働。</li> <li>・仕事でコミュニケーションをとるとき、明らかに差別がある。</li> <li>・問題がある時、日本人の意見が考慮される。</li> <li>・治療をしなくてはならない状態でも仕事に追われる。</li> <li>・正社員ではなく常に仕事の補佐役として扱われる。先生たちは嫌がりながら私に話しかける。ほとんど職場のイベントや飲み会などの誘いが無い。</li> <li>・日本人と同じように、信頼されて仕事をもらえない。みんな外人に対して同じ見方をしているように感じる。同僚も私に近づくことをためらう。</li> <li>・日本人と比べて賃金が低すぎる。</li> <li>・暑い太陽の下、外で働かされる。</li> <li>・工作中、何を言っているかほとんど理解できないので叫ばれる。</li> <li>・外国人だけ残業がある。</li> <li>・ミーティング中、コミュニケーションが取れなく、声が大きいため気に入られない。日本人に受け入れられない。外国人に対して異なる視点を持っている。国によって差をつける。</li> </ul> <p>2. 日本人の態度 (仕事以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の人に無視される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒人なので触られたり見てきたりして不快です。</li> <li>・ジロジロ見られる。(『外国人』と指差される)</li> <li>・子どもと間違われる。</li> <li>・子供が日本人で無い為、受け入れられない。</li> <li>・挨拶をしても答えてくれない。</li> <li>・私が日本人じゃないから、時々彼らに冷たい目で見られる。たぶん、公正に扱うのが嫌なだけだ。しかし、多くの日本人は、フレンドリーでマナーが良い。</li> <li>・外国人は態度が悪いと思っている。</li> <li>・病院で、スタッフは患者に、日本語が話せる人が居ないと話したがらない。</li> <li>・特定の人々が私に日本語を話すことを期待しないこと等。</li> <li>・私達は決して厄介な人達ではありません。しかし多くの人々は日本語で話しかけても返事をしてくれません。</li> <li>・なぜ一部の日本人は中国人が嫌いなのですか？</li> <li>・お店の中で。(失礼な態度を取られたり、説明が十分でなかったりする)</li> <li>・日本人はすぐに、外国人が沢山来て困ると言う。</li> <li>・白人と比べられる。(自分は無視されるが、白人とは仲良くしたがる)</li> <li>・時々私が日本語を話すことを嫌がっているように見える。日本語がわからないのでそれほど悪くないが、少しうっとおしい。</li> <li>・コンビニで丁寧語を使わずに普通に話す。レストランで「外国人にサービスをお断りします」と書いているのを見ることがある。</li> <li>・日本人は、いつも甘やかされています。</li> <li>・銀行口座、電話番号、アパートの契約が難しい。</li> <li>・毎日ある。例えば、スーパーで子供に話すように話しかけられることがある。日本人は時々、外国人とのコミュニケーションを避ける。全員ではなく、時々、何人かを相手にしたときに、これは起きる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどのミャンマー人はアルコールを飲まない。日本のコミュニケーションは、夜、一緒に飲む場がある。そんな時は、あまり参加しない。</li> <li>・冷たく扱われるし、私との会話を避ける。</li> <li>・一部のお店の人が外国人を受け入れない。</li> <li>・日本人は、話したり楽しませたりしてくれない。なぜなら、私たちを見下している。私たちは、母国では、日本人にそうはしない。公平にして欲しい。</li> <li>・当時かつて働いたとき、お客さんがとても不適切な態度を取ってきた。(私が外国人のため。)時々同僚も同じような態度を取ることがあった。</li> <li>・しかし、すべての日本人がそうであるのではなく、親切な日本人もここには存在している。</li> <li>・ジムのマシーンを使っていた時、「外国人は、あっちへ行け」と言われ、使わせてもらえなかった。</li> <li>・バイトの時、外国人だからと言って、お客様に冷たくされた。</li> <li>・常に駅で人種差別的扱いをされる。</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼拝できない。</li> <li>・住居が古くて汚い。</li> <li>・目立ったら差別されるので目立たない。</li> <li>・すべてにおいて。</li> <li>・多すぎて説明するのが困難。</li> <li>・教えたくない。我慢するべきだと思う。自分が成長していないから、慣れていくしかない。</li> <li>・この種の状況は、どこで起こってもおかしくはないことだ。それは普通、外国人と高齢の日本人(近所に外国人が住んでいることに慣れていない)の間に起こる。個人的には、私はこの状況を完全に理解できる。が、私は願っている。近い将来、日本がもっとオープンで多様な文化を許容できる国になることを。</li> </ul>